

パブー非公式勝手マニュアル

パブーで遊んでみよう

製作 アイソメ万太郎



はじめに

『パプーで遊んでみよう』も、いよいよ第3弾となりました。
今回は画像について扱っています。

そもそも私が『パプーで遊んでみよう』を作ろうと思ったのは、画像を貼り付けるときの「サイズ」の挙動が、なんだかよくわからなくて、それについてメモを取っていたのがきっかけでした。

「Lサイズ」を指定しているのに画像は元のまま（オリジナルと何が違うの？）かと思えば、「Sサイズ」にするとギュッと小さくなってしまいます。でも、「Mサイズ」だとあんまり変わってないような...？

この「サイズ」とはなんなのか？ マニュアルをあたってみたけど、どこにも書いていないみたい（いまだに、見落としてるだけなのかもしれないけど...）。

それならば挙動についてメモを取って.....といった感じで、いろいろあってできたのが『パプーで遊んでみよう』です。

というわけで、画像の「サイズ」についてまとめました。

それ以外にも、パプーでの画像管理からはじまって、画像の貼り付けや回り込みといった画像を使ったレイアウトについても説明しています。

また、画像を紙面に載せる上でけっこう使える「画像に枠線を付ける」方法についても触れています。

前回までのテキスト主体の『パプーで遊んでみよう』から、一歩先をいく紙面作りができるようになる...かもしれません？

なお、本書の内容は執筆時点でのパプーの挙動を元に書かれています。パプーのバージョンアップに伴い、本書と内容が異なる場合があります。

本書の内容はパプーのページ編集画面を操作しながら、気付いたことをメモしたものがベースとなっています。

したがって仕様に基づいた記述ではありませんので、あらかじめご了承ください。

パプーの仕様に関するお問い合わせなどは、運営サイトへお訊ねください。

目次

1. 使える画像
2. 画像の管理画面
 - 2-1. 管理画面に表示される画像
 - 2-2. 管理画面で削除された画像
 - 2-3. 管理画面のパスについて
3. 画像のアップロード
4. 画像を貼り付ける
5. 画像の大きさを指定して貼り付ける
 - 5-1. 画像の横幅が724ピクセルを超えたとき
6. 画像の大きさを変更する
7. PDFで作成した版面を再現するには
8. 画像をコピーする
9. 画像の回り込み
 - 9-1. 回り込みを解除する
10. 画像との間隔を設定する
11. 画像の位置
12. 画像に枠線を付ける

1.使える画像

画像のファイルサイズは2メガバイトまでです。

(パプーの「[よくある質問](#)」より)

アップロードできる画像の数・ファイルの総容量については、特に記述は見つけれませんでした。

(もしかすると限度が定められているかもしれません)

使える画像形式はJPEG、GIF、PNGのラスター形式の画像だけです。



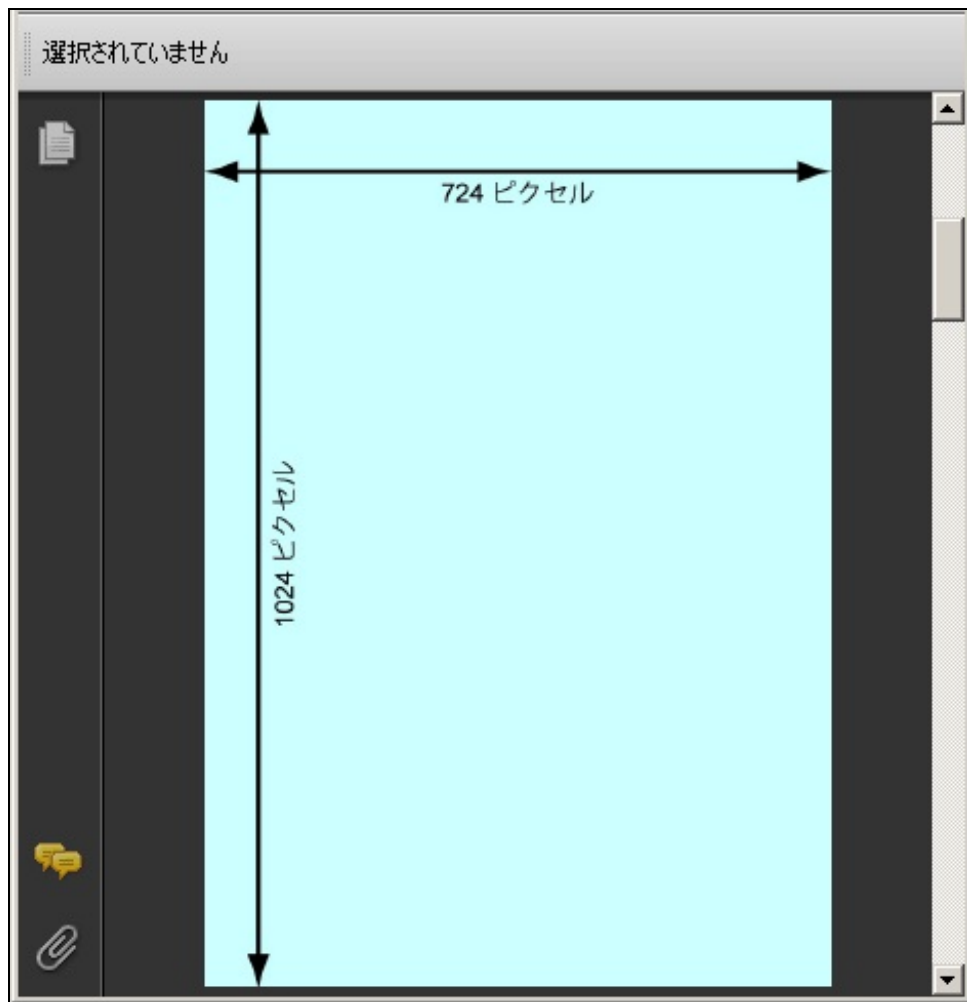
使用できない画像をアップロードしようとするとエラーが表示

SVGやFlashといったベクター形式の画像（プラグインが必要）は残念ながら使えません。

(パプー以外の電子書籍でも同様なのではないでしょうか?)

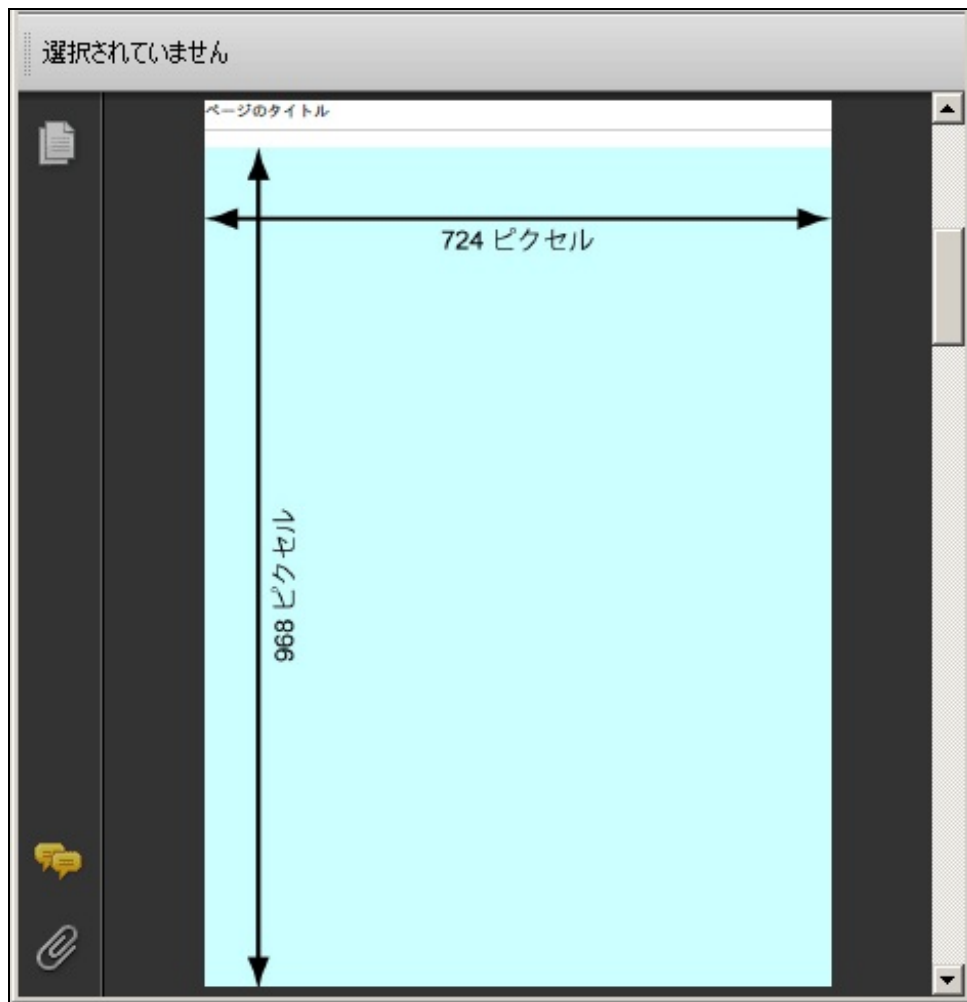
したがって、マンガのように紙面全体が絵になっているものや、元データがPDFになっている場合などは、ページ全体をラスター形式の画像に変換してから貼り付けます。

パプーでは、PDFのページ全体に画像を表示させたい場合の推奨サイズとして、「縦:1024ピクセル×横:724ピクセル」としています。



画像がページいっぱいに表示される（PDFの場合）

ただしページにタイトルを入れる場合は、タイトルの分だけ上側のスペースを取られてしまうので「縦：968ピクセル×横：724ピクセル」を推奨しています。



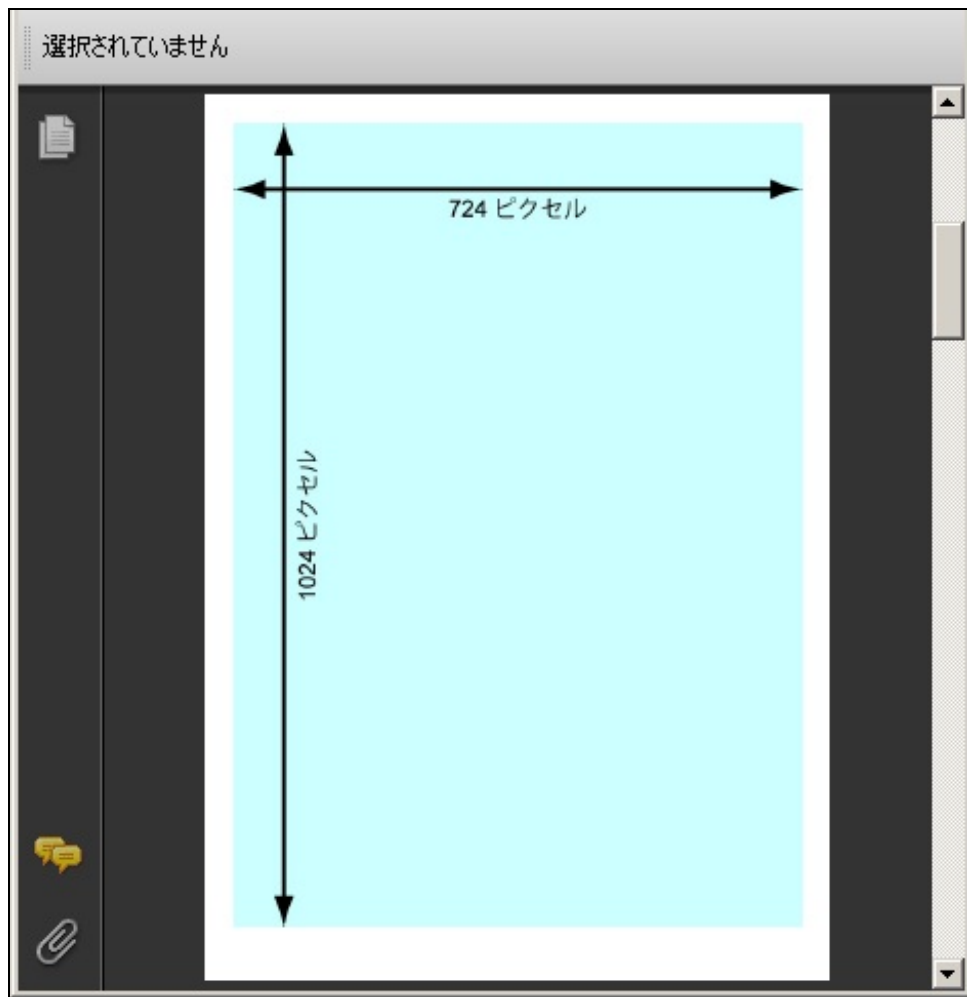
タイトルの分だけスペースが取られる（PDFの場合）

したがってマンガのようにページ全体に画像を表示する場合は、これらの推奨サイズ以下の大き
さで画像を作るようにしましょう。

なお、[PDF出力オプション設定]で[余白あり]になっていると、画像の周囲に余白ができてしま
います。

（余白の分、画像が縮小されます）

ページ全体に画像を表示したいときは、[PDF出力オプション設定]で[余白なし]にしましょう。



余白の分、画像が縮小される（PDFの場合）

2.画像の管理画面

編集画面で[画像を挿入する]をクリックすると、[画像のアップロードと管理]画面が表示されます。

パブーでは、この画面で画像のアップロードや削除といったデータの管理と、サイズや回り込みといった画像挿入時の設定を行います。

画像のアップロードと管理

本で使用する画像をアップロードすることができます。

- 画像をページ内に貼付ける場合は、画像のサムネイルが「使用する」ボタンをクリックしてください。
- 画像を貼付ける際に「サイズ」と「レイアウト」を選ぶことができます。
- 漫画など、1ページ全体に画像を表示させたい場合の推奨サイズは、縦:1024px、横:724pxです。
- ※ ページにタイトルを入れる場合は、縦:968px、横:724px

削除	画像	メモ	パス	サイズ	レイアウト	使用
×	你好	你好.gif	http://img.booklog.jp/2E3C8270	Lサイズ	回り込みなし	使用
×		あか.gif	http://img.booklog.jp/FC81ABE	Lサイズ	回り込みなし	使用
×	①	01.gif	http://img.booklog.jp/F093433C	Lサイズ	回り込みなし	使用

◀ 前のページ 1 次のページ ▶

[画像のアップロードと管理]画面

[参照]: アップロードする画像を選択する際、このボタンをクリックします。

「3.画像のアップロード」を参照してください。

[アップロードする]: このボタンをクリックすると、選択した画像をパブーにアップロードします。

[削除]: パブーにアップロードした画像を削除します。すでに本文に挿入している画像は使えなくなります。

「2-3.管理画面で削除された画像」を参照してください。

画像を削除してもよろしいですか？

OK キャンセル

[OK]をクリックすると削除

[画像]: 画像のサムネイルが表示されています。サムネイルにマウスカーソルを合わせると、画像

の全体が表示されます。

サムネールをクリックすると、本文に画像が挿入されます。



画像にカーソルを合わせると全体が表示される

[メモ]: デフォルトでは、ローカルにあったときの画像のファイル名が表示されています。ここに新たに文字を入力して、[変更]ボタンをクリックするとメモの内容を変更できます。

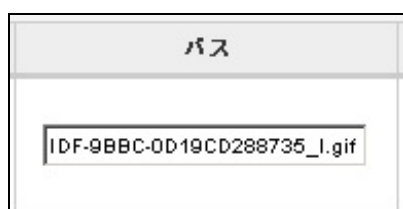
ただしメモの内容が変更になるだけで、アップロードされた画像のファイル名が変わるわけではありません。



画像のファイル名が表示される

[パス]: パブーにアップロードした画像の保存場所とファイル名です。パブーにアップすると、ファイル名はパブー用の半角英数文字の羅列に変換されます。

ローカルにあったときのファイル名とは異なるので注意してください（[メモ]にローカル時のファイル名が表示されています）。



ローカルでのファイル名とは異なるので注意

余談ですが、私がパブーを始めた当初は[メモ]がなかったので、管理画面から目的の画像を探すのに苦労した憶えがあります。

[サイズ]: 画像を貼り付けるときに、オリジナルの画像に対して、どのていど縮小するのか設定できます。

サイズはL、M、S、オリジナルとあります。

オリジナルは画像の縮小がされません。

各サイズの縮小については「5.画像の大きさを指定して貼り付ける」を参照してください。



画像のサイズを選択

なお[パス]の拡張子の直前には、「_」で区切られて画像のサイズが明示されています。
[サイズ]にあわせて、ここが「s、m、l、o（オリジナル）」と変化します。



パスの末尾がサイズによって変わる

[レイアウト]: 画像を貼り付けるとき、テキストの回り込みを設定できます。
「9.画像の回り込み」を参照してください。



回り込みの仕方を選択

[使用]: ボタンをクリックすると画像が貼り付けられます。

[前のページ][次のページ]

[画像のアップロードと管理]画面に一度に表示できる画像は10個までです。11個以上画像をアップロードしているときは、このボタンが有効になります。



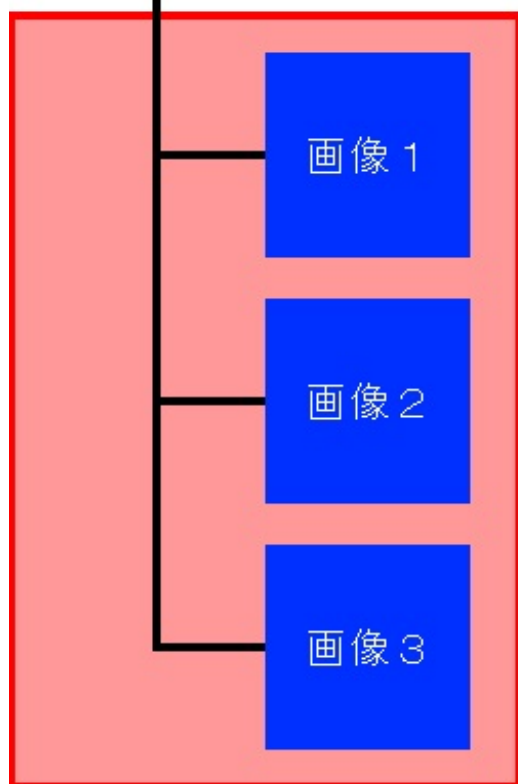
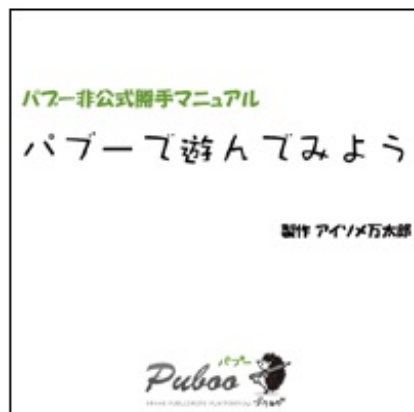
表示する画像を切り替える

2-1.管理画面に表示される画像

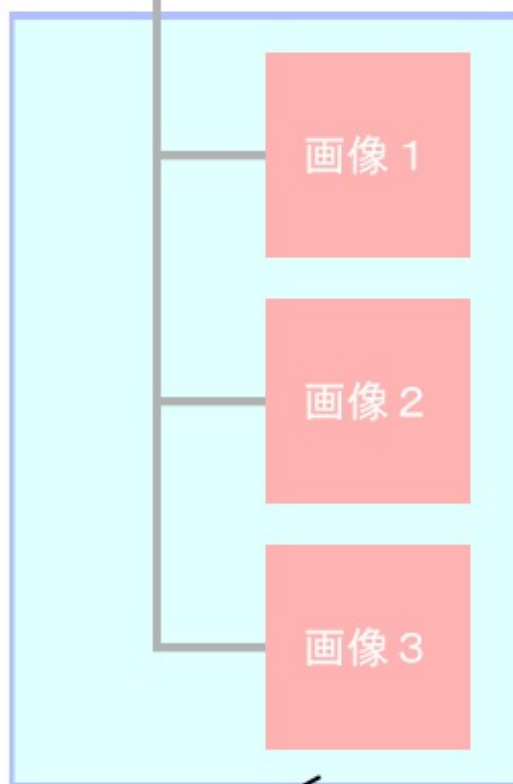
[画像のアップロードと管理]画面には、現在編集している本でアップロードした画像だけ表示されています。

他の本でアップロードした画像は、この画面に表示されず、管理も画像の挿入もできません。

編集中的の本 A



本 B



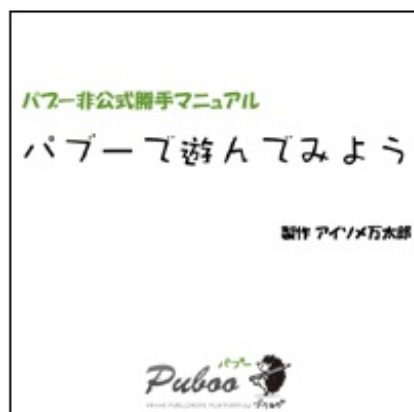
編集していない本の画像は
表示されず、管理できない

しかし、[画像のアップロードと管理]画面に表示されていなくても、画像のパスがわかっているならば他の本の画像も挿入できます。

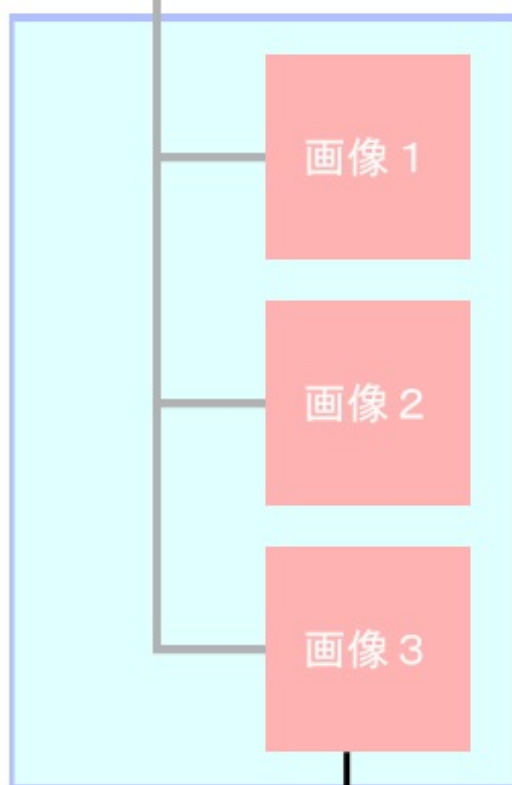
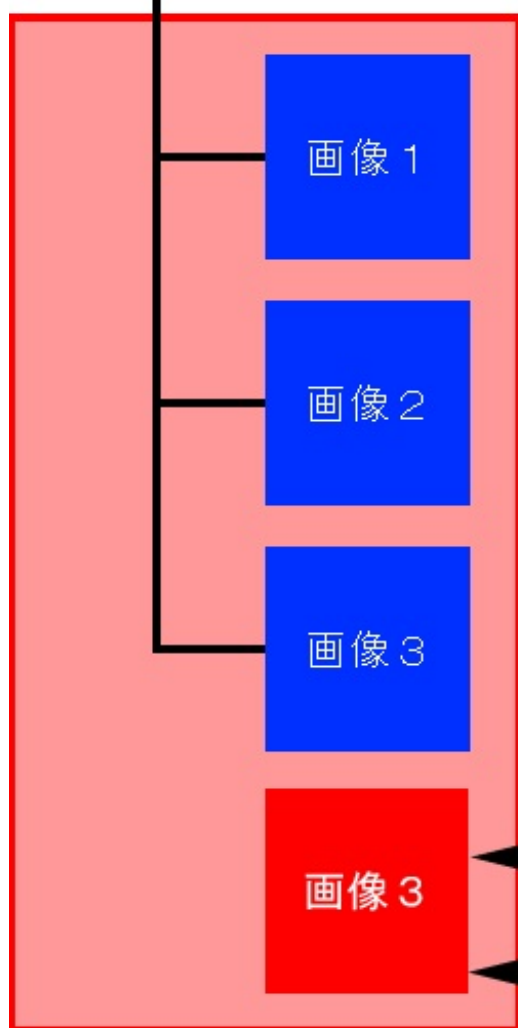
また、他の本の編集画面を開いて、画像をコピーして貼り付けることもできます。

これは別のユーザーの本でも可能です（自分で別アカウントを作って試してみました）。

編集集中の本 A



本 B



コピペ

管理画面に表示されるパス
<http://img.booklog.jp/~>

編集集中の本でなくてもコピペなどで画像を挿入できる

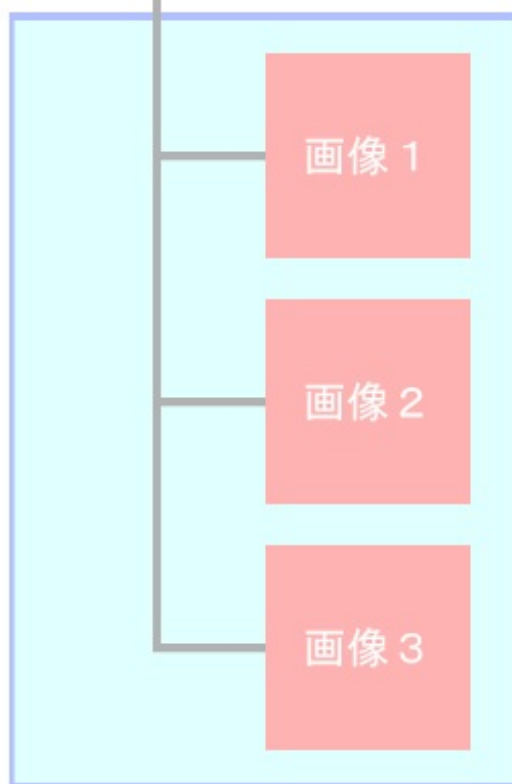
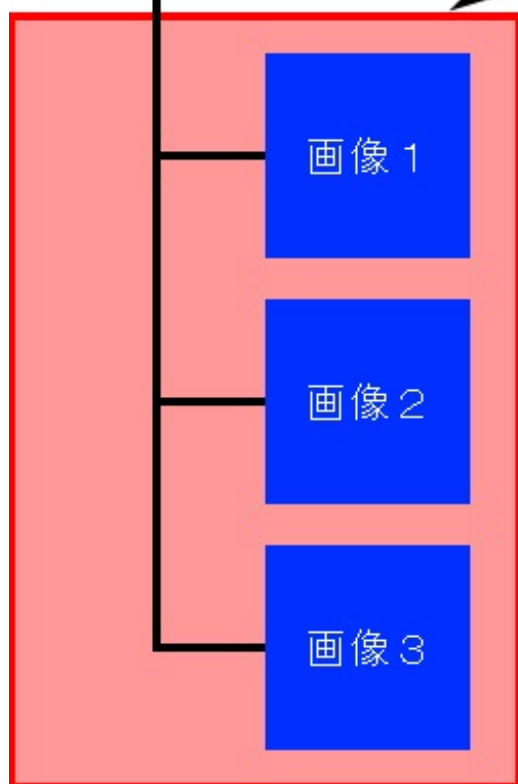
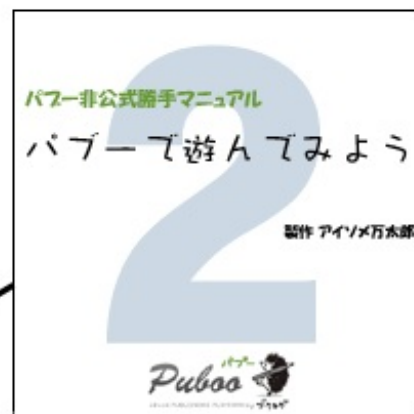
すでに、ある本で管理画面を表示している状態で、別の本を表示した場合、管理画面は前に編集した本のままです。新たに開いた本のものには切り替わりません。

編集集中の本の管理画面を表示するには、一度管理画面を閉じてから、[画像を挿入する]をクリックして、再度管理画面を表示してください。

本 A



編集集中の本 B



管理画面は、以前に編集していた本の画像が表示されたまま

2-2.管理画面で削除された画像

編集画面で貼り付けた画像でも[画像のアップロードと管理]画面で削除すると、ePubやPDFでは表示されず画像を使うことはできません。

しかし、編集中の挙動が少々わかりづらいので以下にまとめます。

[画像のアップロードと管理]画面で削除しても、すでに編集画面で使われている画像は表示されたままです。

この時点では、画像を編集したり、コピーして増やすこともできます。

しかも[PDFプレビュー]やページの確認画面でも画像は表示されています。

この挙動のせいで、私は管理画面で画像を削除しても、本文で使っているものは表示され続けるのだと思っていました。

しかし、[PDF・ePubの更新]を行い、PDFやePubで確認すると削除した画像は表示されません。

また、しばらくすると編集画面にも削除した画像が表示されなくなります。

（具体的な条件はわかりませんが時間をおいたら表示されなくなった、という感じです）

不可解な挙動もありますが、結論として、[画像のアップロードと管理]画面で削除した画像は本文中でも削除して、使わないようにしましょう。

なお、すでに作成済みのPDF・ePubで使われている画像は、[画像のアップロードと管理]画面で削除しても表示されています。

この状態で[PDF・ePubの更新]を行うと、[画像のアップロードと管理]画面で画像を削除した状態に更新されてしまい、画像は表示されなくなります。

（もちろん、すでにダウンロード済みの本に関しては、問題なく表示されます）

2-3.管理画面のパスについて

[パス]のエディットボックスにカーソルを入れて、文字の入力・削除が行えます。

A screenshot of a web management interface. At the top, there is a header bar with the text 'パス' (Path). Below it, there is a text input field containing the URL 'http://img.booklog.jp/2E3C8270'. Below the URL field, there is another text input field containing the text 'aaaaaa'. The entire interface is enclosed in a light gray border.

パスの文字列は変更できるが、特に影響はない？

しかし、ここでパスを変更して画像を貼り付けても、パスは変更前のままです（パスを削除しても、HTMLソースには元のパスのまま画像は貼りつきます）。

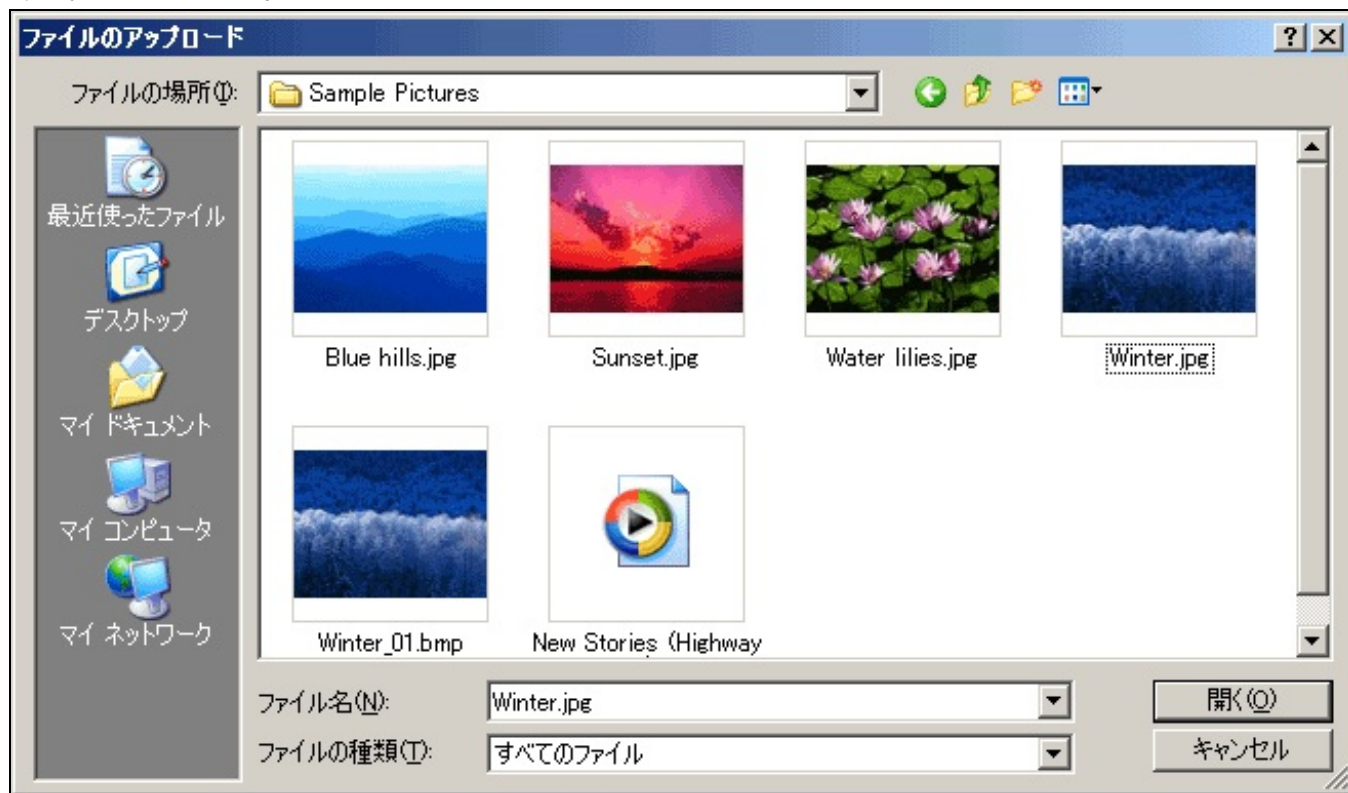
[画像のアップロードと管理]画面を閉じたり、新たな画像をアップロードすると、変更したパスも元に戻ってしまいます。

今のところ、ここを編集しても何もないようです？

3.画像のアップロード

管理画面の[参照]ボタンをクリックすると[ファイルのアップロード]ダイアログが表示され、アップロードする画像を選択できます。

なお、この際パブーにはアップロードできない形式のファイルであっても、選択できてしまうので気を付けましょう。



画像を選択する

画像選択後、[アップロードする]ボタンをクリックすると画像がアップロードされます。



画像を選択後[アップロードする]ボタンをクリック

画像はアップロードした順に表示されます。

パブーに画像をアップロードすると、ファイル名（パス）はパブー用の半角英数文字の羅列に変換されます。

そのため、ファイル名に全角文字などURLに使えない文字を使っても、ファイル名を変更せずにアップロードできます。

（ローカルでのファイル名は[メモ]に表示されています）

また、すでにアップロードされている画像と同じファイル名だったとしても、アップロードされると異なるパスに変換され、ともにパブーで共存することができます。

これで、うっかり同名のファイルで上書きしてしまい、貼り付けている画像が意図しない画像に

差し変わってしまう、という事故は防げます。
しかし、同じファイルをいくつもアップロードできてしまうので、気を付けましょう。

削除	画像	メモ
✕		あお.gif 変更
✕		あお.gif 変更

同名の画像（同じ画像）でもパプーでは共存できる

4.画像を貼り付ける

画像を貼り付ける

[ページの作成・編集]画面で、画像を挿入したい箇所にカーソルを合わせます。

[画像を挿入する]ボタンをクリックすると、[画像のアップロードと管理]画面が表示されます。

貼り付けたい画像の[サイズ]と[レイアウト]を選択してから、画像のサムネールをクリックするか、[使用]ボタンをクリックします。

（アップロードしたのに貼り付けたい画像が見つからないときは、別のページにあるかもしれません。）

サイズ	レイアウト	使用
Lサイズ	回り込みなし	使用
Sサイズ	画像を左寄せ	使用

[サイズ][レイアウト]を設定する

カーソルを合わせた箇所に、設定したサイズとレイアウトで画像が貼りつきます。

B

I

U

S

三

三

三

三

三

三

Font1Style

※ここに文章を記入してください。

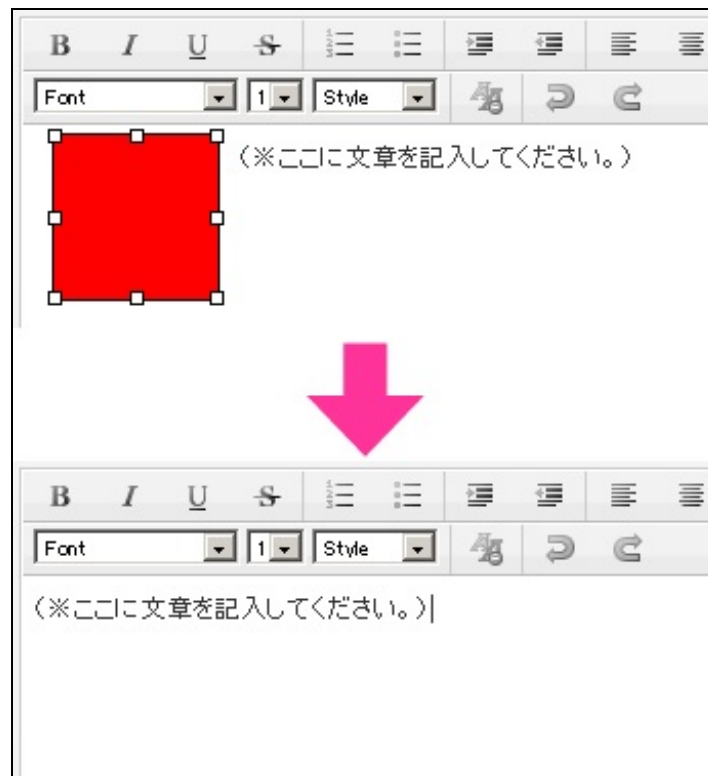
画像が貼り付く

（この操作は[ウィジウィグエディター][HTMLエディター]どちらでも操作できます）

画像を削除する

ブログやワープロソフトなどと同様です。

削除したい画像を含む範囲か、削除したい画像をマウスでクリックして選択状態にしてから、キーボードの[DEL]キーを押下するなどして削除できます。

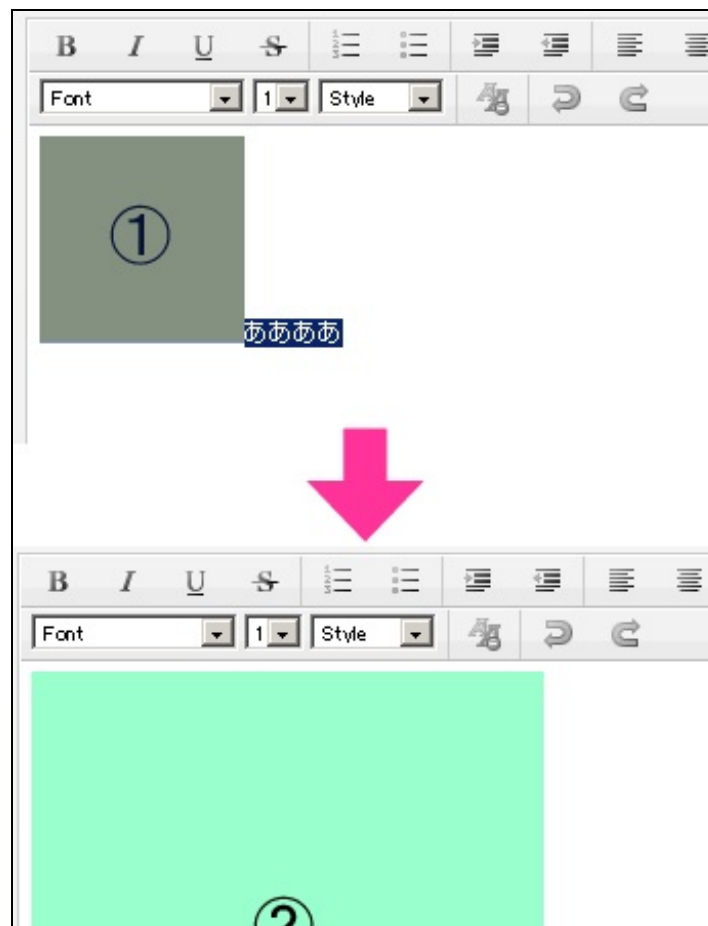


選択中の画像が削除された

ただし、画像に回り込みを設定していた場合は、HTMLタグに<br style="clear: both;">とソースが残っています。

もし、邪魔であればこれは削除してください。

また、画像やテキストを選択した状態で画像を貼り付けると、選択されていた画像などが削除され、新たに貼り付けた画像に置き換わります。



選択中の画像とテキストが置き換わった

5.画像の大きさを指定して貼り付ける

画像を貼り付ける際、[画像のアップロードと管理]画面では画像のS、M、Lの[サイズ]を指定できます。

（オリジナルは画像のそのままの大きさです）

しかし、このサイズというのが具体的にどういうことなのか公式マニュアルには載っていないので、いまいわかりづらいです。

Sサイズで画像を貼ると極端に画像が小さくなるとか、Lサイズで貼っても画像が大きくなりずにオリジナルと大きさが変わっていないとか...

というわけで、いろいろなサイズの画像を貼って調べてみたところ

- ・各サイズには敷居値がある
 - ・敷居値以下の大きさの画像は、選んだサイズに関係なく大きさは変わらない（オリジナルサイズ）
 - ・敷居値を越えた大きさの画像は、敷居値のサイズに縮小される
- ということのようです。

この敷居値について調べてみた結果

Sサイズ：80ピクセル

Mサイズ：240ピクセル

Lサイズ：1024ピクセル

となるようです。

これは、あくまでも貼り付けた画像の挙動を調査しただけです。パプーの仕様に合致しているか確認はしていませんので、ご了承ください。

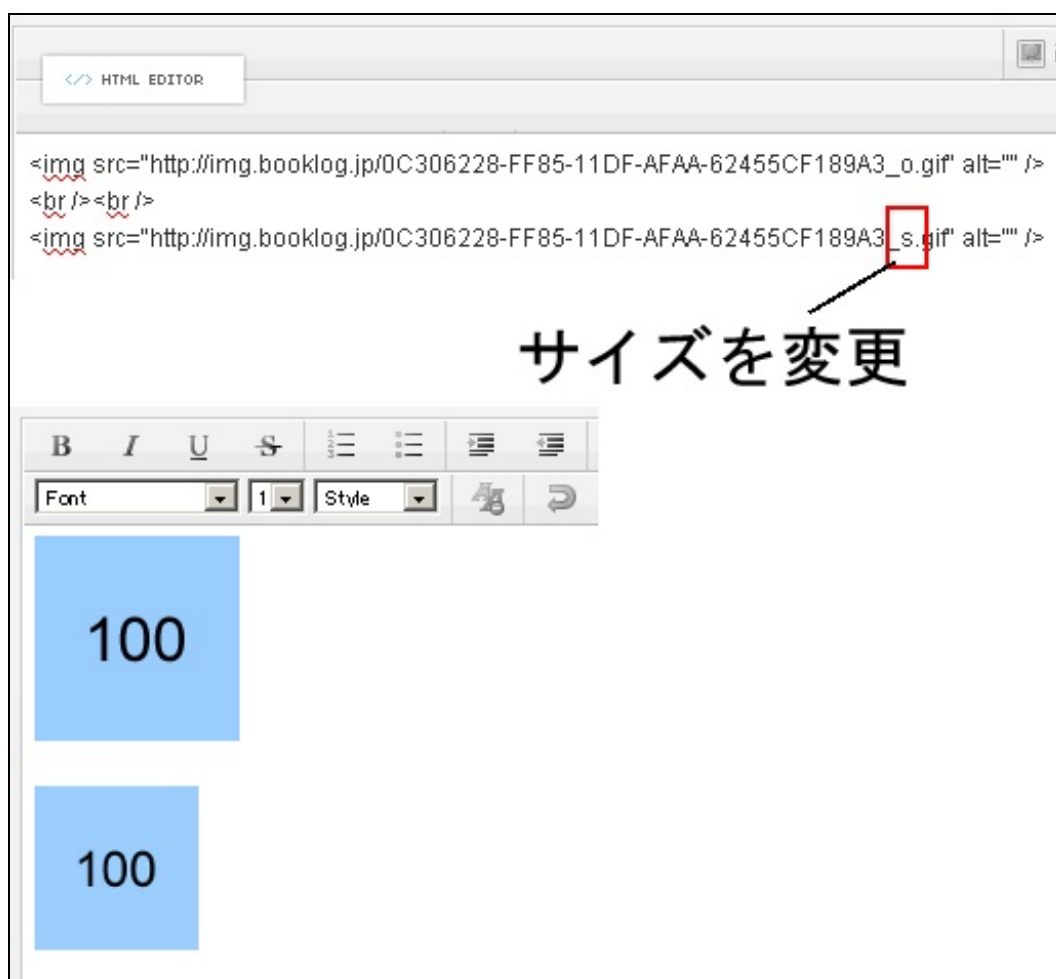
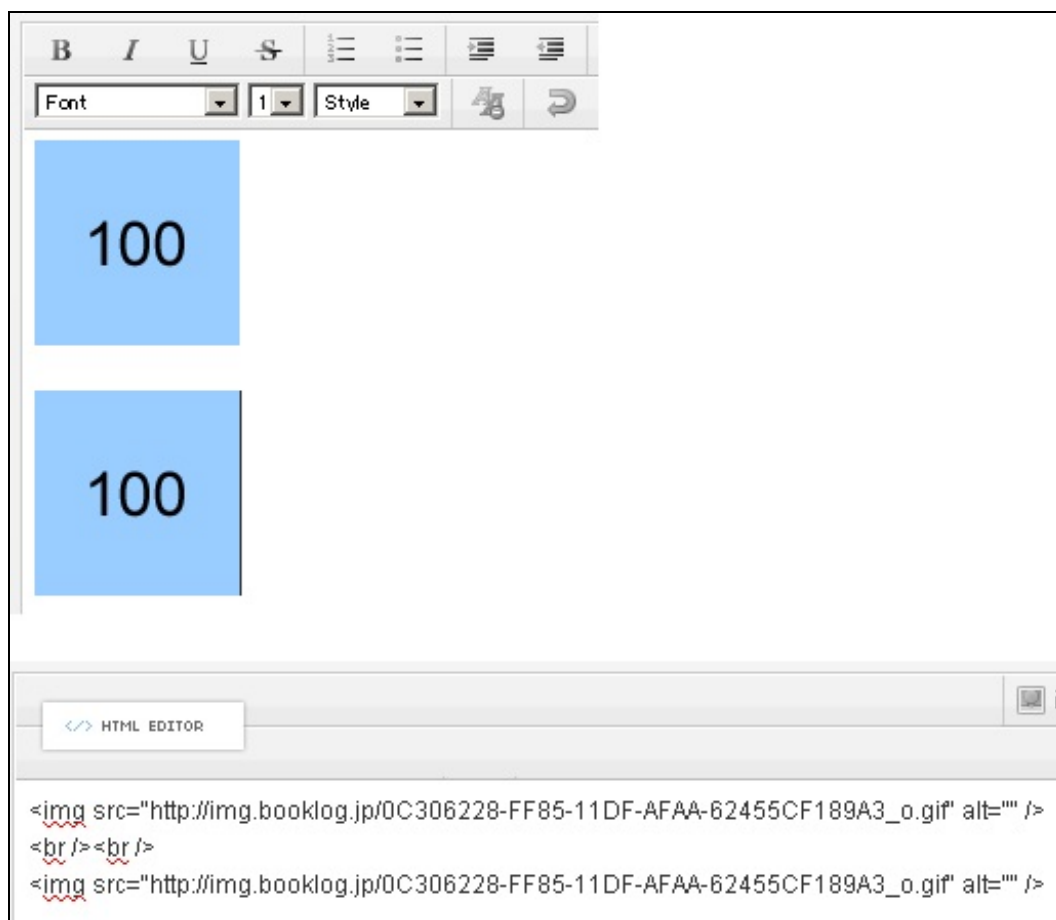
またPDF、ePubともにパソコン上で確認したものです。もしかすると電子書籍リーダーや端末によっては、この敷居値が変わるかもしれませんが、確認はできていません。

別ページに、それぞれのサイズの敷居値以下、敷居値を超えている画像を貼り付けて、サイズの変更が見られるようにしていますので、ご参照ください。

ePubで表示してもわかりにくいかもしれませんが、PDFで300%ぐらいまで拡大すると、違いがわかるかと思います。

なおLサイズの1024ピクセルは、PDFでページ全体に画像を表示するときの高さの最大値です。つまりLサイズに指定しておけば、とりあえずページ内に画像が収まるように縮小されます。

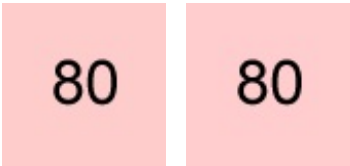
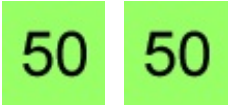
また、[ウィジウィグエディタ]で画像パスのサイズの部分（拡張子の直前の「_」で区切られている部分）を変更すると、貼りついている画像のサイズを変えることもできます。



画像のサイズが変わった

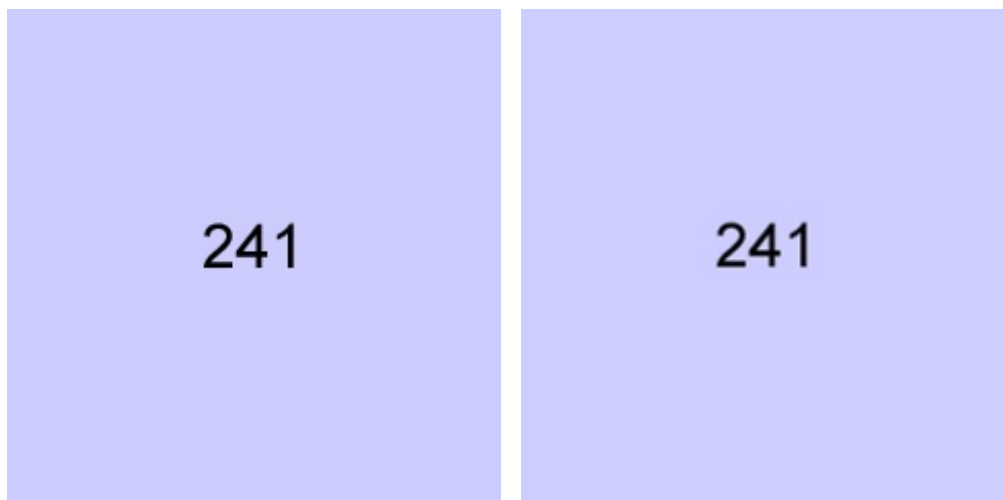
5.(参考 サイズS)

左側がオリジナルサイズ、右側がSサイズに設定した画像です。



5.(参考 サイズM)

左側がオリジナルサイズ、右側がMサイズに設定した画像です。

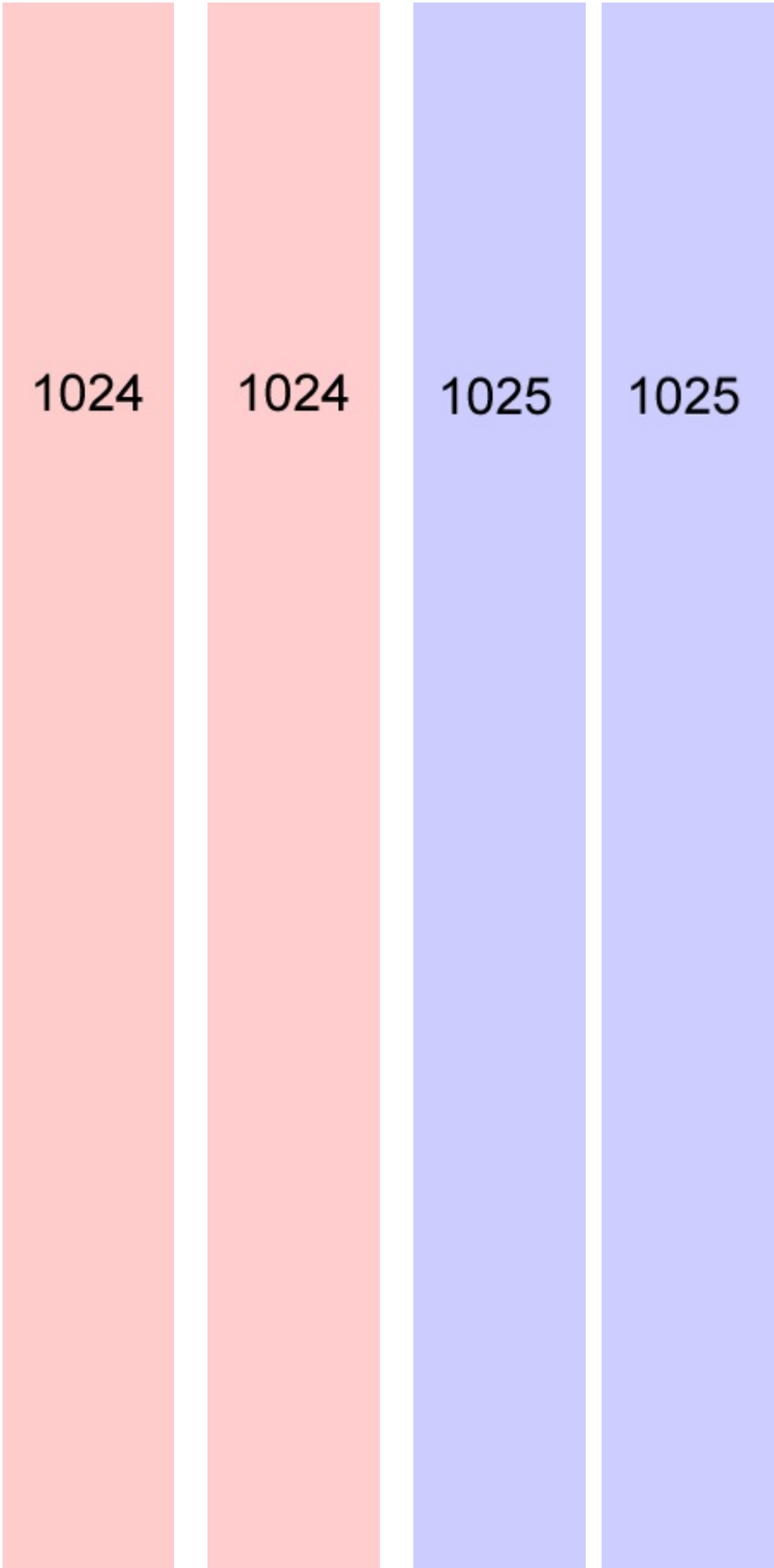


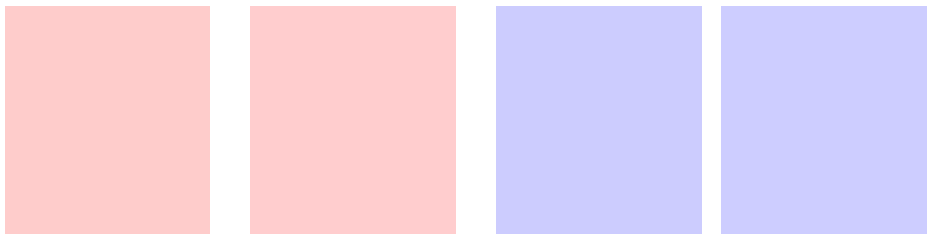
250

250

5.(参考 サイズL)

左側がオリジナルサイズ、右側がLサイズに設定した画像です。





5-1.画像の横幅が724ピクセルを超えたとき

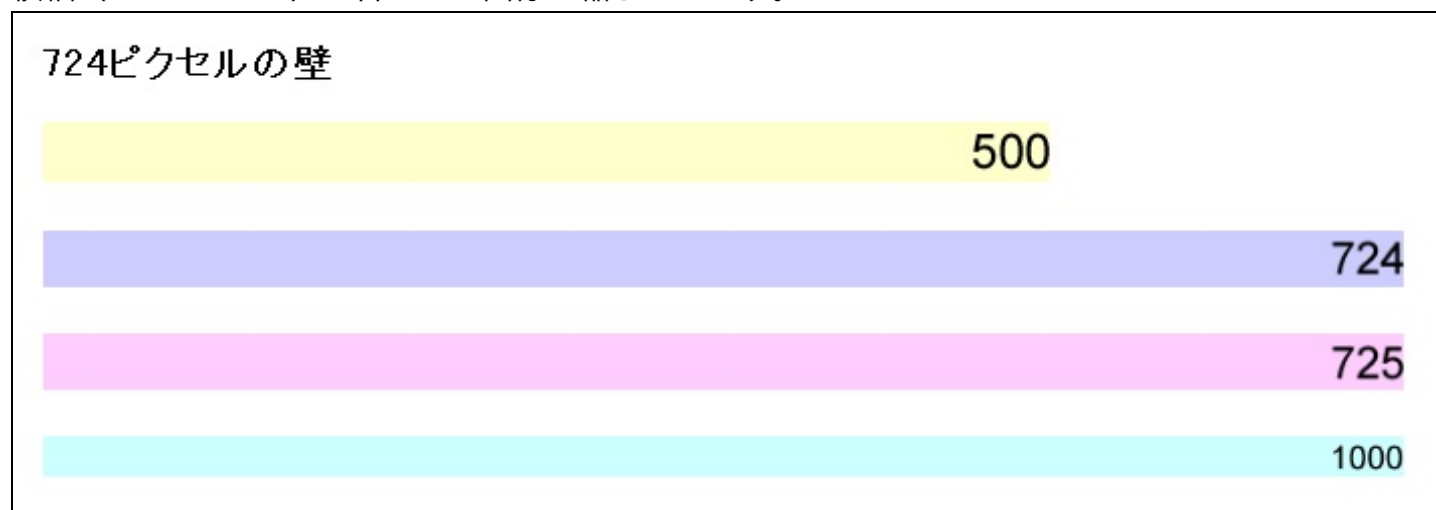
パプーでは、画面全体の横幅は724ピクセルを推奨としています。

では、724ピクセルを超えた場合どうなるのでしょうか？ ePubとPDFでは挙動が異なります。

（ただし、これはパソコン用のビューワで確認したものであり、専用端末等で確認すると異なる動作になるかもしれません。あらかじめご了承ください）

ePub（ページ確認画面も含む）の場合

横幅（724ピクセル）に合わせて画像が縮小されます。



横幅（=724ピクセル）に合わせて縮小

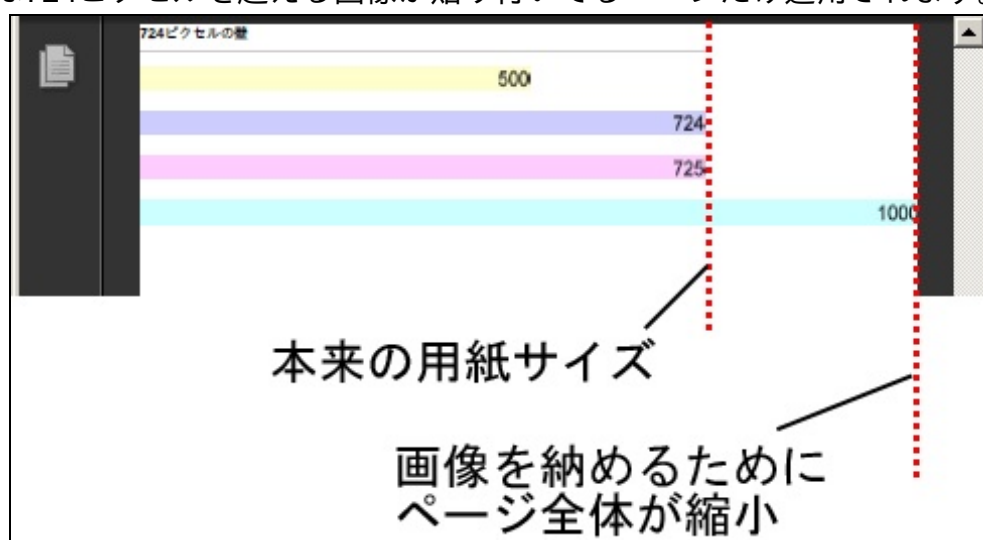
PDFの場合

版面（紙面のサイズ）を超えて画像が表示されます。

しかし、PDFの用紙のサイズそのものが変わるわけではありません。

そのためにはみ出した分を用紙サイズに合わせるために、ページ全体が縮小されてしまいます。

ただし、これは724ピクセルを超える画像が貼り付いてるページだけ適用されます。



ページ全体が縮小

ePubのように画像だけ縮小されるのも、PDFのようにページが縮小されるのも、本来の意図した表現ではないはずです。

きちんと用紙に合わせて、意図した表示になるよう画像のサイズは調整しましょう。

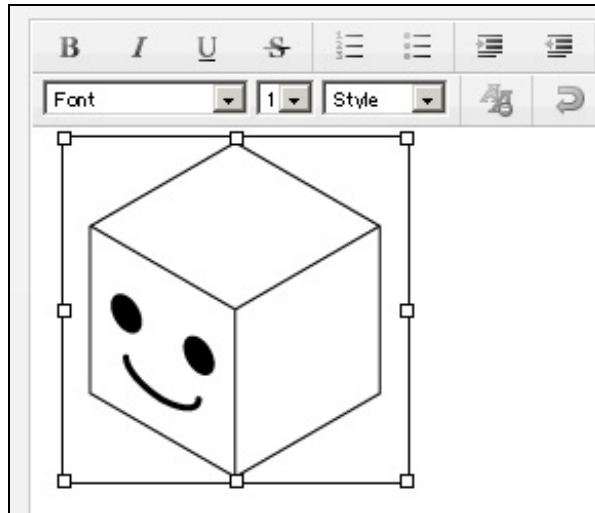
6.画像の大きさを変更する

パプーの編集画面では、貼り付けた画像の大きさを変えられます。

マウス操作で変更する

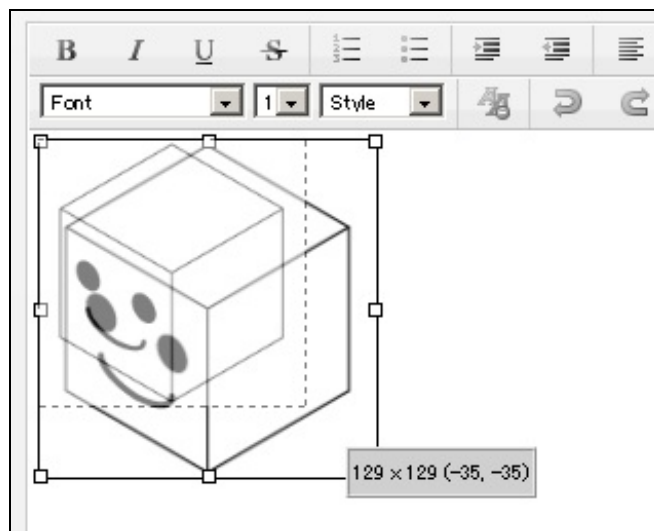
画像をクリックすると、画像の周囲にハンドルが表示されます。

このハンドルをドラッグすることで、画像の大きさを変えられます。



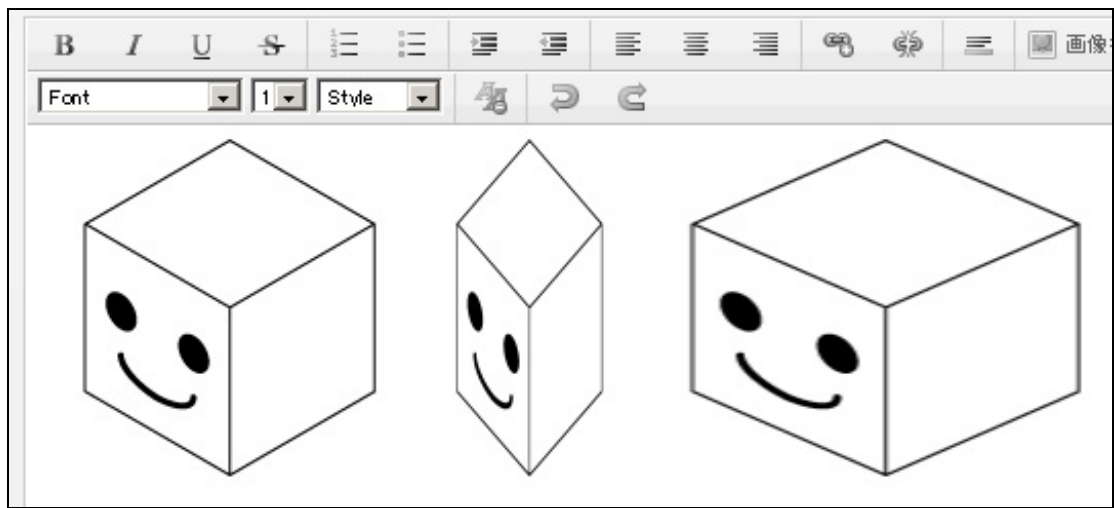
画像をクリックするとハンドルが表示される

画像の大きさを変更中は、マウスカーソルの側にツールチップが表示され、現在の画像の大きさがわかるようになります。



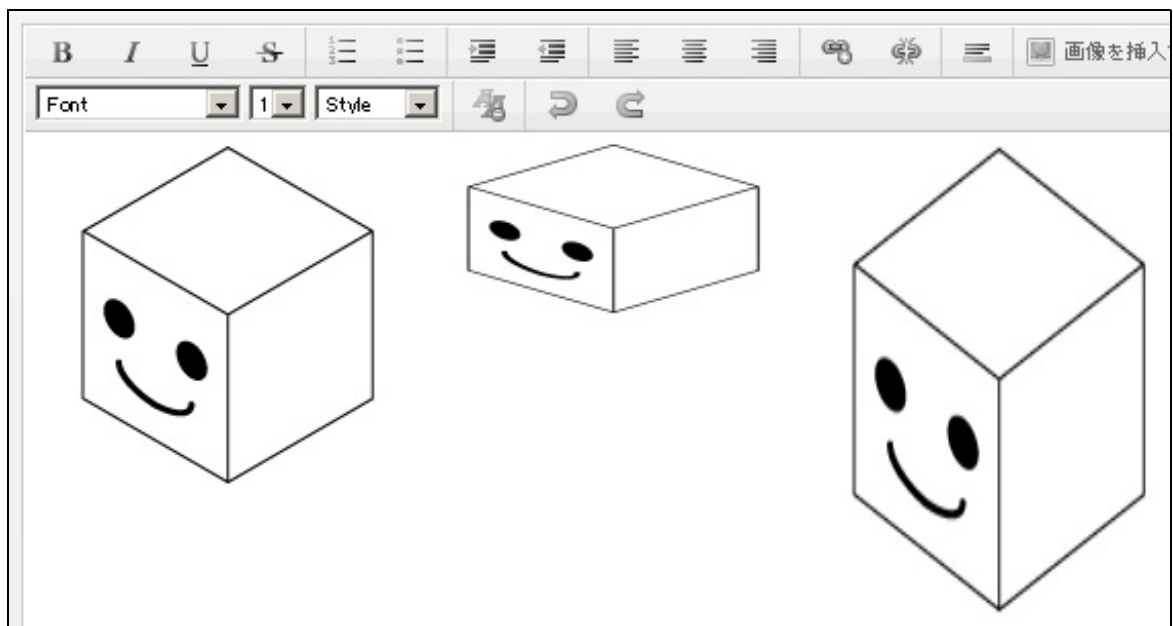
ツールチップが表示される

横方向にハンドルをドラッグ



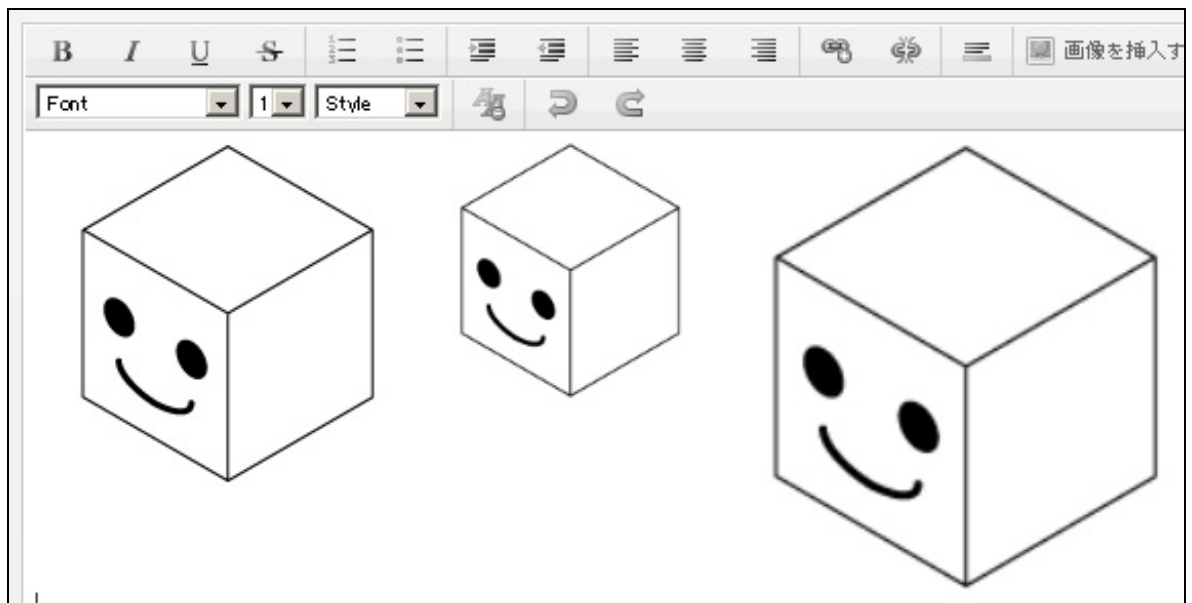
横方向に幅が伸び縮みする

縦方向にハンドルをドラッグ



縦方向に高さが伸び縮みする

斜め方向にハンドルをドラッグ

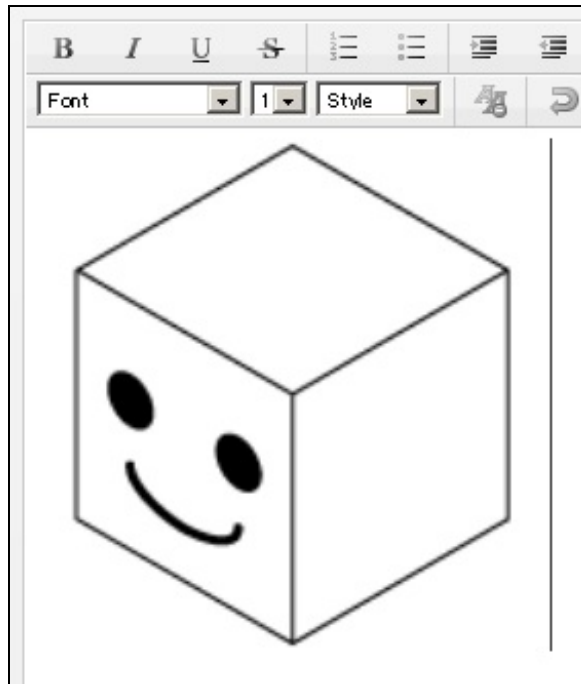


縦横比を保って拡大縮小する

このようにマウスドラッグでサイズを変更すると、画像に<style>属性の<width>（幅）と<height>（高さ）の値が設定されます。

高さ と 幅 を 数 値 で 指 定 す る

画像は<style>属性に<width>（幅）と<height>（高さ）を設定することで、数値で画像の大きさを指定できます。



width と height を 250px に した

ただし、これらの方法でサイズを変更した場合、GIFやJPEGなどのラスタ形式の画像のため、線がガタガタになったり潰れてしまい、あまり見た目が良くありません。
画像を貼り付けてからサイズを変更するのではなく、あらかじめそのサイズで画像を作成するように心がけましょう。

7.PDFで作成した版面を再現するには

組版ソフトなどを使った複雑なレイアウトをパプーで再現したい場合、PDFがあるのならラスター形式（JPEG、GIF、PNG）の画像に変換して貼り付けるという方法もあります。

ちょうどページ全体に画像が収まるように表示するには、以下のサイズにしてください（パプーの推奨サイズです）。

ページタイトルがない場合：1024×724ピクセル以内

ページタイトルがある場合：968×724ピクセル以内

PDFからラスター形式の画像にするには、いろいろなやり方があると思います。

私はPDFをIllustratorで開き、Illustrator上で1024×724ピクセル以内のサイズに調整。

それからPNGにデータ書き出しという方法でやりました。

（別ページにて手順を紹介していますので、参考にしてください）

画像の解像度に関しては『[青空ファインダーロック](#)』をはじめとした、マンガ作品が参考になるかもしれません。

紙で印刷することを目的としないので、解像度はパソコンのディスプレイできちんと表示できれば問題ないでしょう。

また、色に関してはCMYKで作成していた場合、ラスター形式の画像するとRGBに変換されてしまうので、紙で表現するはずだった本当の色は再現できないです。

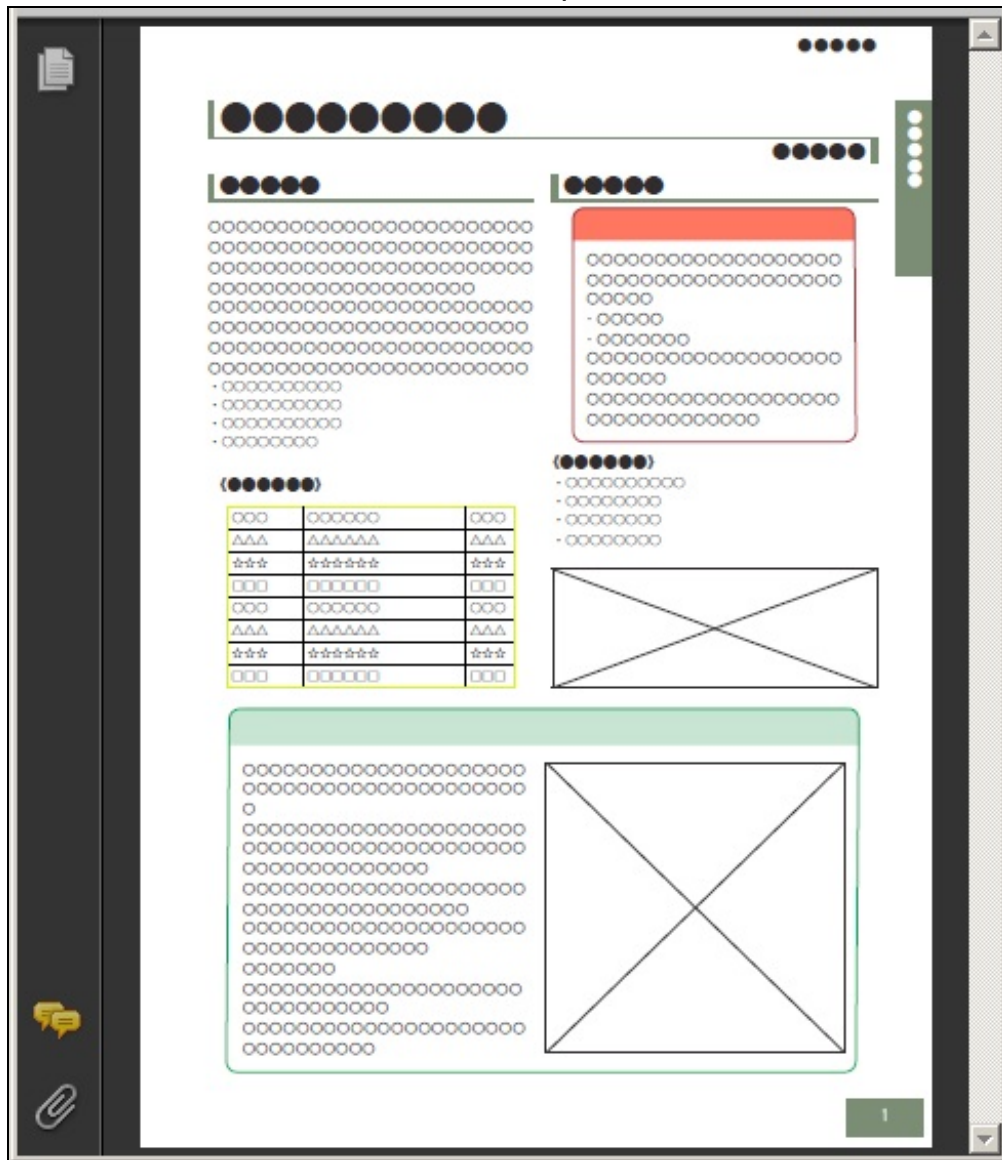
このへんは仕方がないと割り切るしかない、と私は思っています。

7.(参考 PDFを画像にして貼り付ける)

版下から作られたPDFをラスタ形式の画像に変換して、ページ全体に貼り付けるとき一連の手順です。

1.版下データからPDFを作成します。

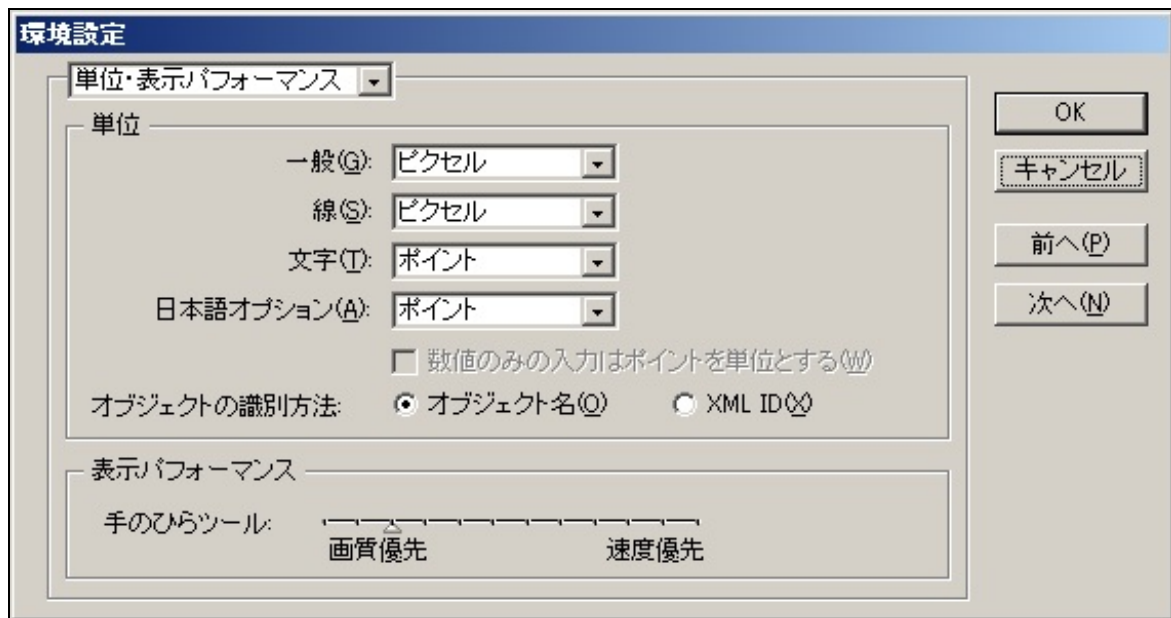
(この例では、A4サイズのデータから、解像度600dpiのPDFを作成しています)



PDFを作成する

2.Illustratorを開きます。

この際、Illustrator上での単位を[環境設定]で「ピクセル」にしておきます。

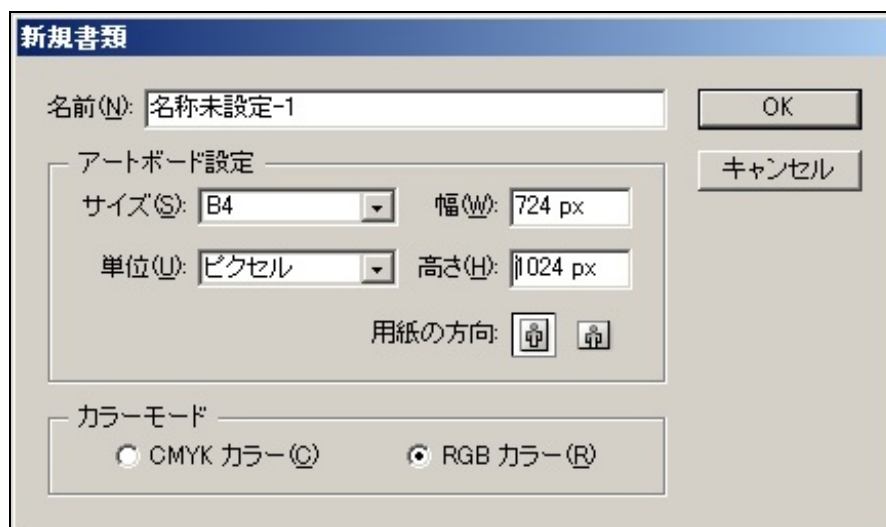


単位をピクセルにすると作業しやすい

3. 「幅：724ピクセル」「高さ1024ピクセル（ページにタイトルを付けるなら968ピクセル）」の新規データを作成します。

ページ全体に画像を貼り付けるには「724×1024ピクセル」以内で画像を作ります。

Illustrator上で画像サイズを拡大・縮小する際のガイド代わりに、このサイズの新規データを作っておきます。



ガイドの代わり

4. PDFをIllustratorで開きます

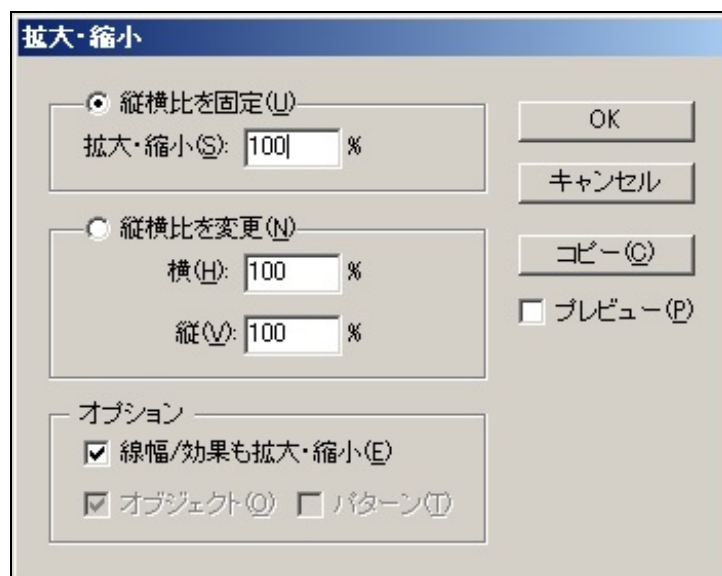


台紙（724×1024ピクセル）よりも小さい

5.版下データの作りにもよりますが、ページの台紙（Illustrator上では一番外の枠）の塗りを白（用紙の色）に設定します。

（この作業をしておかないと、ページの余白がない画像になってしまう）

6.ページ全体を選択した状態で、画像のサイズを「724×1024ピクセル」に収まるように拡大・縮小します。



724（または1024）÷元画像のサイズで拡大率が求められる

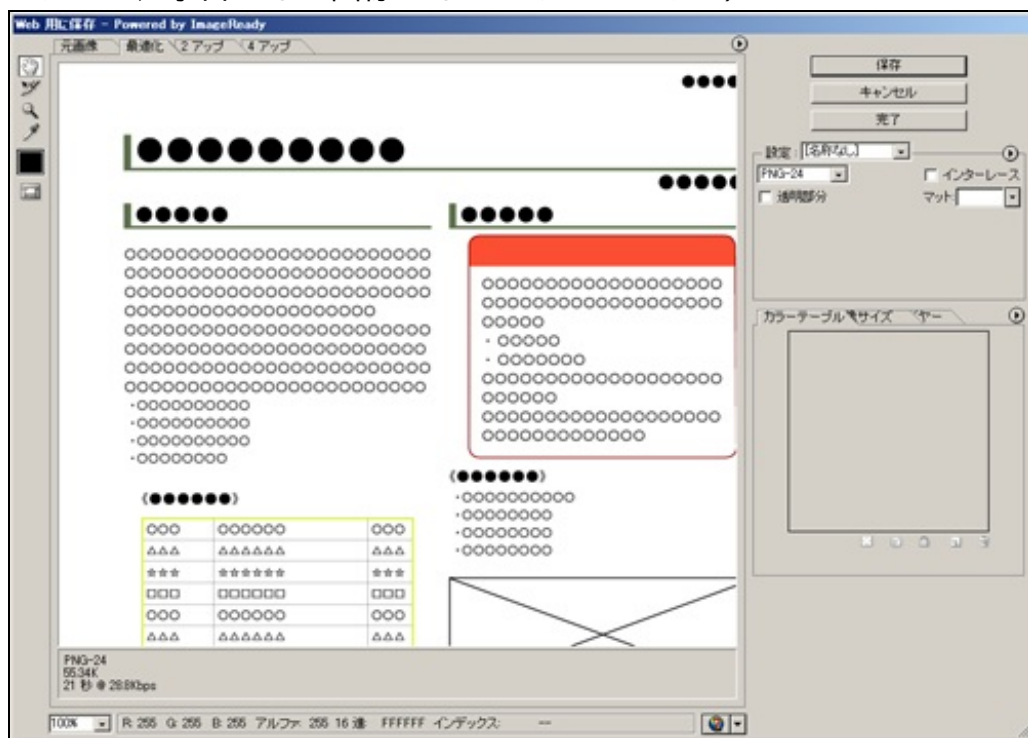
7.拡大・縮小した画像が台紙に収まったことを確認します。



画像がガイド内に収まった

8.[Web用に保存]でラスター形式の画像にします。

(私がやった場合、手順5.でページの台紙に塗りを設定していないと、オブジェクトギリギリのサイズでトリミングされ、余白のない画像になってしまいました)



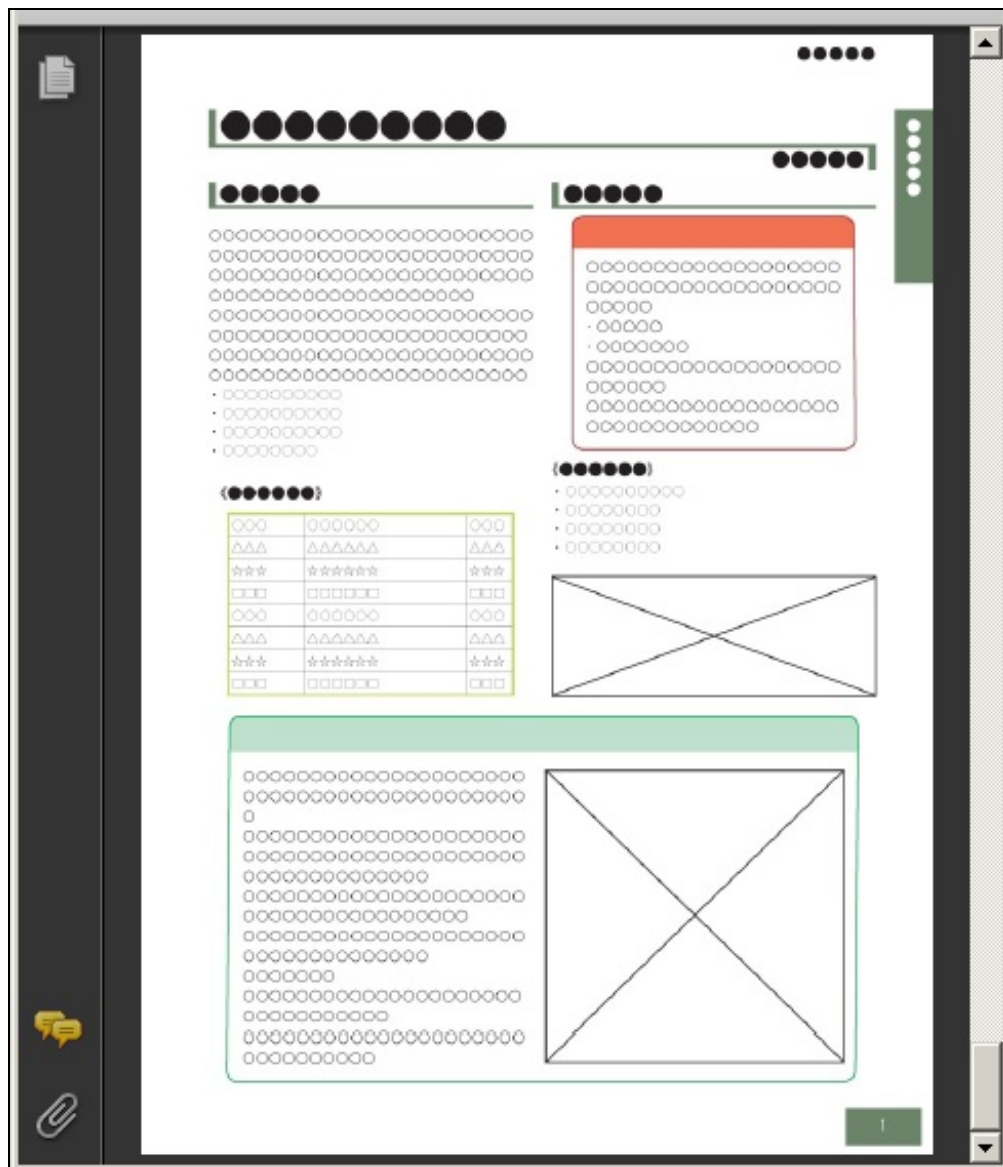
ラスター画像の仕上がりを確認する

9.できあがった画像をパプーに貼り付けます。



パプーに貼り付ける

10.この画像を使ってPDFを作成すると、きちんとページ全体に画像が収まります。



画像がページ全体に収まり、元のPDFに近いイメージになった

他にも、いろいろなやり方があると思います。

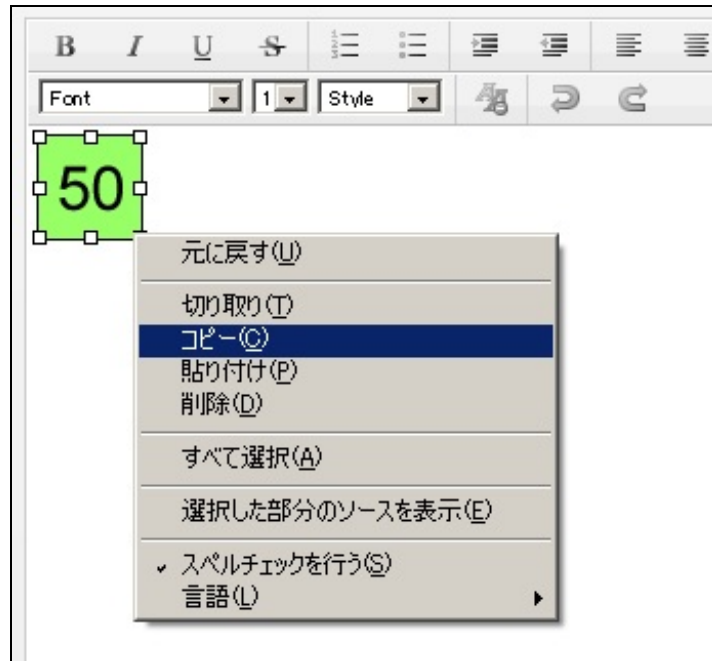
版下データの作りやPDF出力時の設定によっても制限があったり、設定が必要なこともあると思います。

ご自分の制作環境に合わせて、画像を作成してください。

8.画像をコピーする

パブーの編集画面には、コピーや切り取りといったコマンドはありません。
右クリックのポップアップメニューや、キーボードのショートカットキーなどを使ってコピーしたり、貼り付けたりしてください。

すでに挿入済みの画像は、編集画面上で選択してからコピーし、別の箇所に貼り付けます。
（[HTMLエディター]では、で括られている画像のタグをコピーしてください）



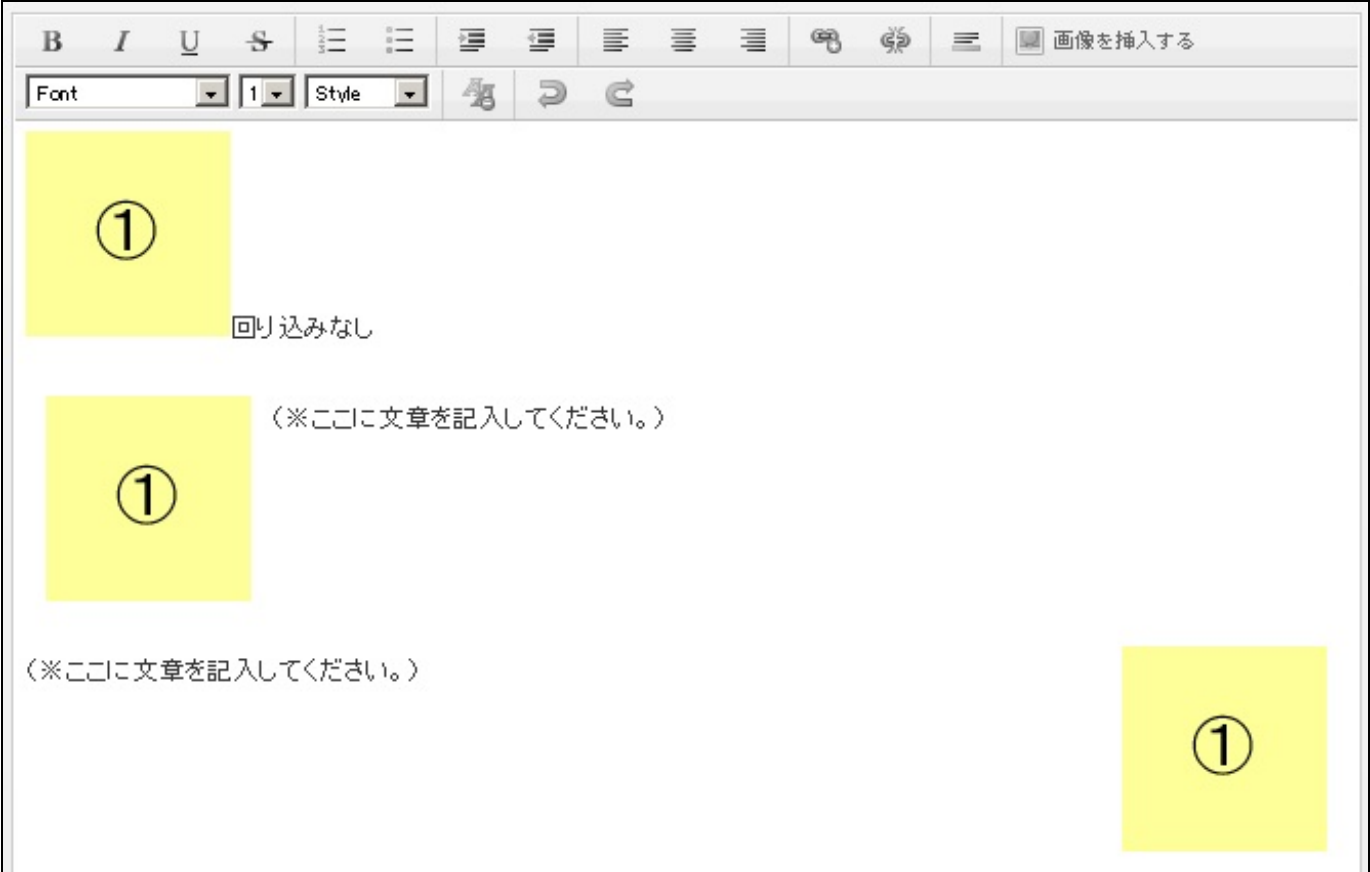
画像を選択してコピー

画像をコピーした状態でページや本を変更し、異なるページ・本にも貼り付けできます。
異なる本で使われている画像は管理画面に表示されませんが、コピーすることで異なる本の画像でも使うことができます。
さらに、異なるアカウントの本でもコピーできます。

余談ですが、あらかじめ画像のパスをテキストエディタなどにコピーしておけば、画像の貼り付けも含めてローカルで作業することも可能です。

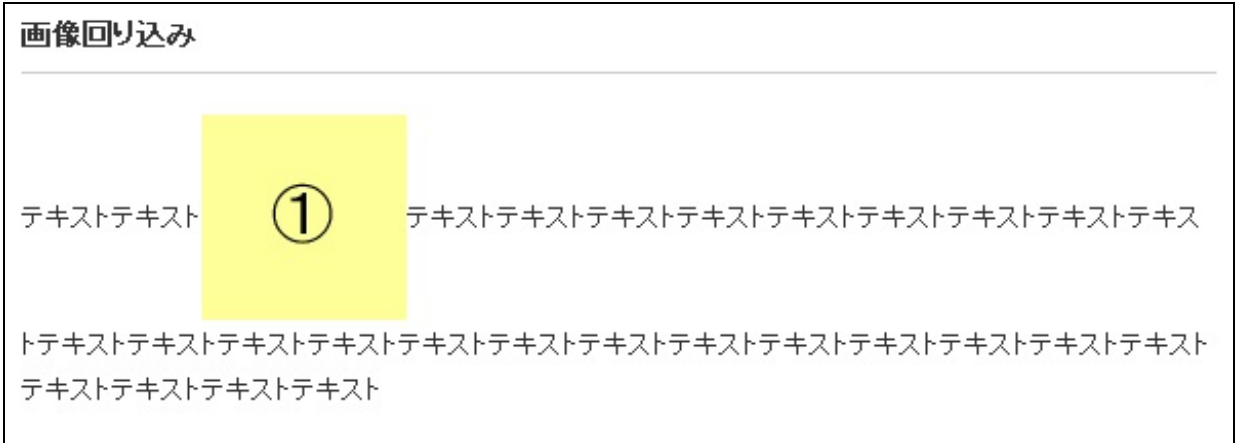
9.画像の回り込み

画像の位置には[回り込みなし][画像を左寄せ][画像を右寄せ]があります。



回り込みを設定した画像

[回り込みなし]にした画像は行揃えの位置に従います。
画像はテキスト行に挿入され、インライングラフィックと同じ扱いとなっています。
つまり画像と同じ行には、画像の大きさにかかわらず、一行分のテキストしか入りません。
(ページの端で折り返されたテキストは画像のない行に流れ込みます)



折り返しを設定しない場合

一方、回り込みを設定した場合、画像はページの左端（右端）に配置され、画像の横にテキストが表示されます。
途中で改行や改段落があっても、画像の大きさの分だけ、テキスト行は画像の横に表示されます。

画像回り込み



テキストテキストテキストテキストテキスト

テキストテキスト

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト

ストテキスト

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト4テキストテキスト

画像を左寄せ

画像回り込み

テキストテキストテキストテキストテキスト

テキストテキスト

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト
ストテキスト

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト4テキストテキスト

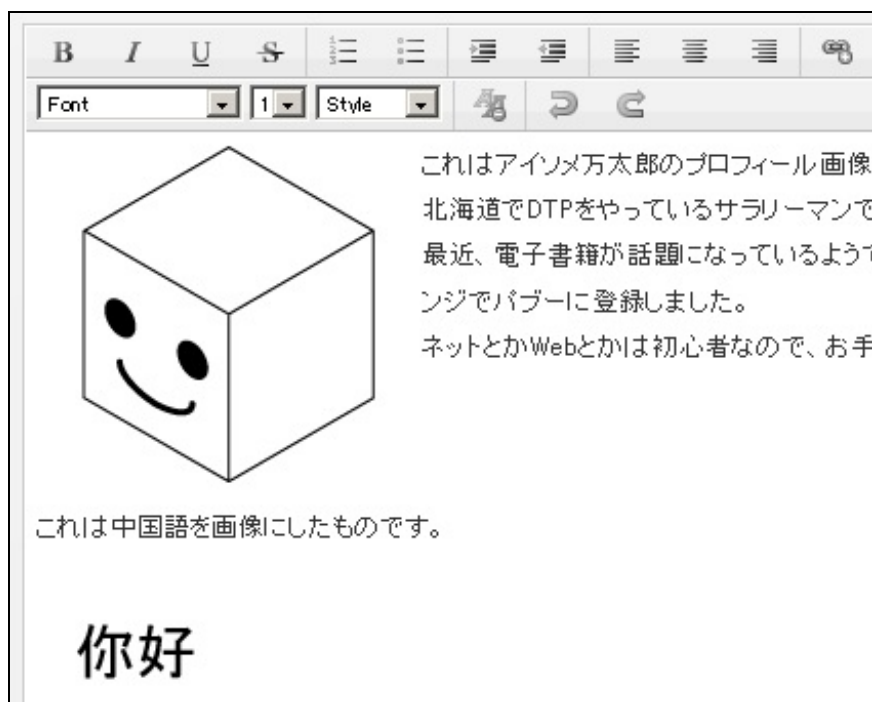


画像を右寄せ

いわゆる、段組のような表示ができます。

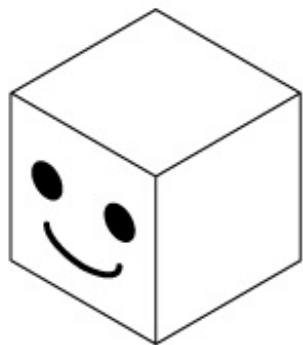
しかし、ビューワによってフォントのサイズは異なります。また、多くのePubビューワではフォントのサイズを変えることもできます。

そのため、画像と横に配置されるテキストが、必ずしも制作意図通りにならないという現象が起きてしまいます。



編集画面では意図通りに配置できたが...

画像回り込み



これはアイノメ万太郎のプロフィール画像です。
北海道でDTPをやっているサラリーマンです。
最近、電子書籍が話題になっているようで、このヒ
るしかないってカンジでパブーに登録しました。
ネットとかWebとかは初心者なので、お手柔らかに

これは中国語を画像にしたものです。

你好

ePubリーダーで表示すると、前の画像にテキストが流れ込んでしまった

9-1.回り込みの解除

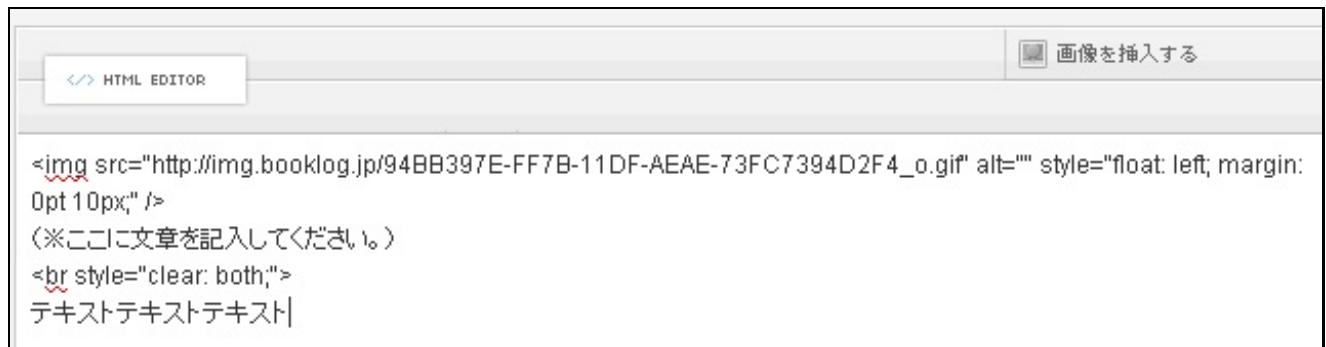
回り込みを設定して画像を挿入すると、「（※ここに文章を記入してください。）」という文章も一緒に挿入されます。

この部分のHTMLソースを表示すると、

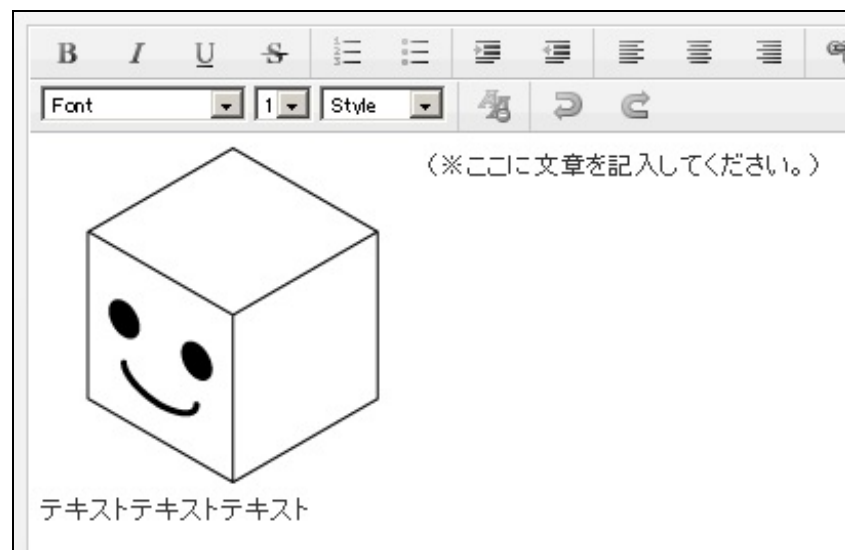
（※ここに文章を記入してください。） <br style="clear: both;">
となっています。

<br style="clear: both;">というのは、回り込みを解除するという意味です。

<br style="clear: both;">以降にテキストを入力すると、画像のすぐ横ではなく、画像の下から（画像を含まない行から）テキストが表示されます。



<br style="clear: both;">以降にテキストを入力する



回り込みが解除され、画像を含まない行からテキストが表示される

「9.画像の回り込み」で例示したように、意図しないテキストを画像の横へ流れ込ませたくないときは、<br style="clear: both;">以降に入力しましょう。

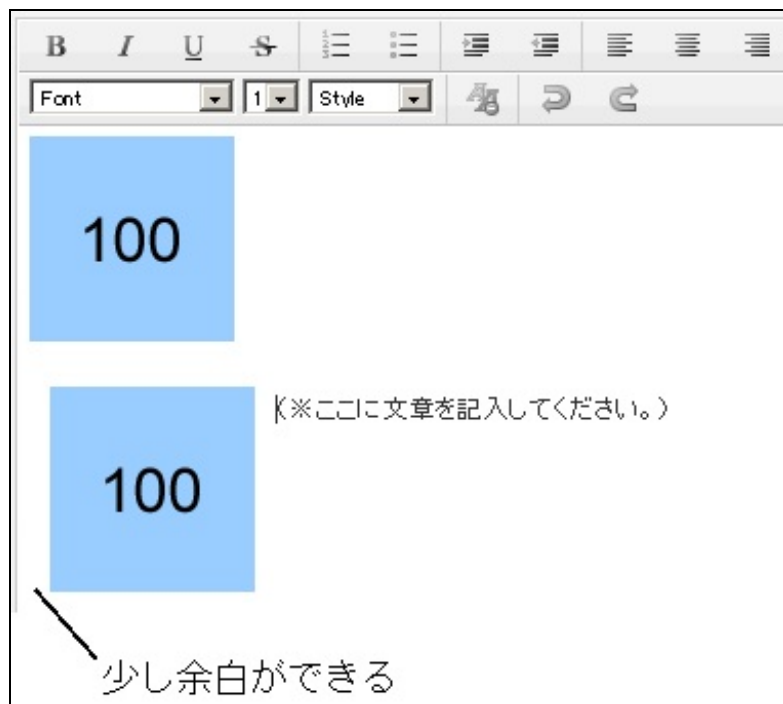
テキストは画像の次の行から表示されます。

そして、フォントサイズにかかわらず、テキストが画像の横に流れ込んでくるのを防げます。

（このとき（※ここに文章を記入してください。）の一文は関係ありません。不要なので削除しましょう）

10.画像との間隔を設定する

回り込みを設定して画像を挿入すると、左右に少し余白ができます（画像では右の余白がわかりづらいですが）。



画像の左右に余白ができる

これは回り込みを設定した画像には、`<style="margin: 0pt 10px;" />`と自動的にマージンが設定されるからです。

（マージンを`<0pt 10px>`とした場合、上下方向にはマージン無し、左右方向には10ピクセルずつマージンを設定しています）

「ページ左端からの微妙な余白を詰めたい」「画像とテキストをもっと空けたい」といった場合には、マージンを設定することで調整できます。

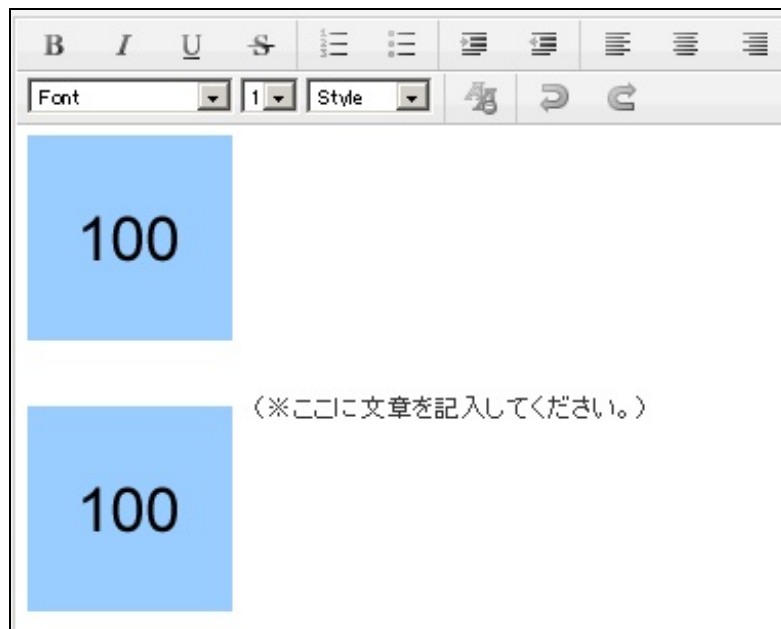
マージンの設定は`<style="margin: ~>`と一括して設定する方法と、`<style="margin-top: ~; margin-bottom: ~;>`と各々のマージンを設定していく方法の、どちらでもかまいません。

（詳しくはCSSの解説書などを参考にしてください）

本書では、回り込みを設定時に挿入されたタグに従い、`<style="margin: ~>`で説明していきます。

ページ左端に画像をピッタリ寄せたい場合

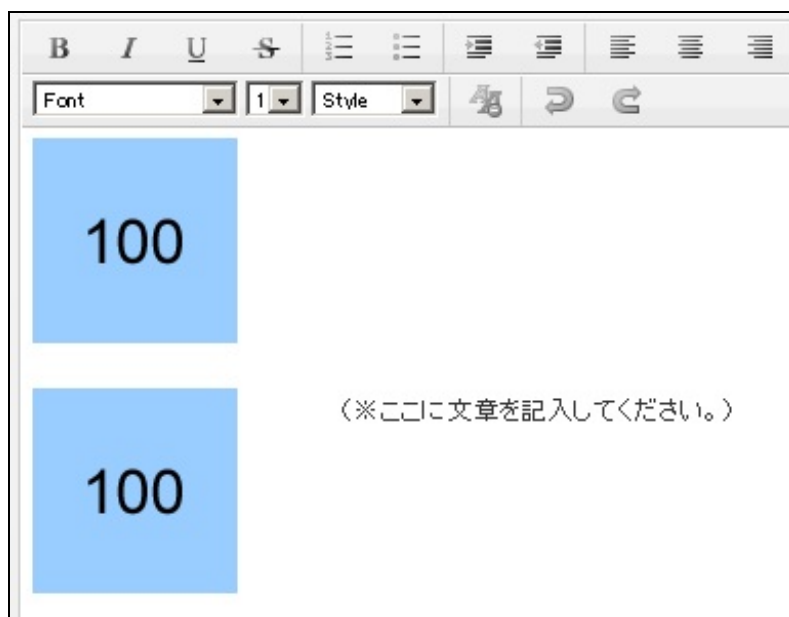
`<style="margin: Xpx Xpx Xpx 0px;" />`と`<margin>`の4つ目の値を「0」にします。



画像が左端に寄った（左の余白がなくなった）

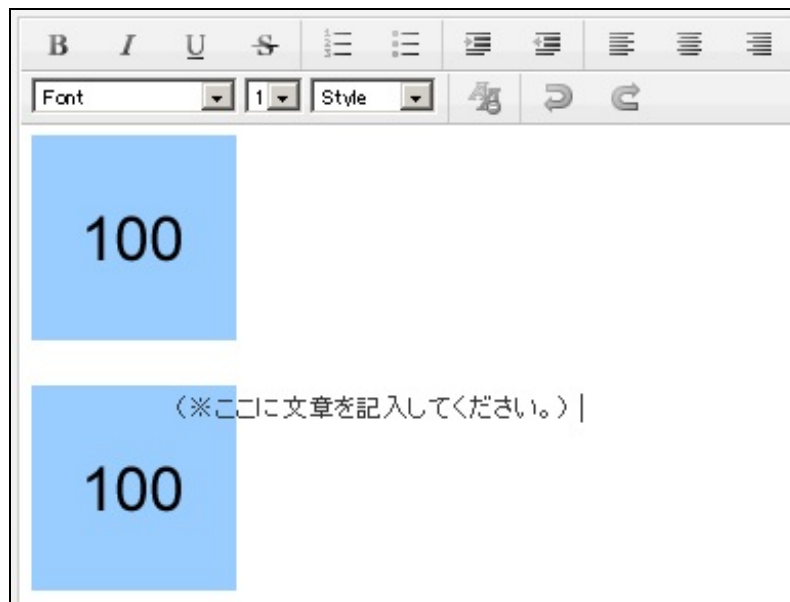
回り込んだテキストとの余白を広げたい場合

<style="margin: Xpx 50px Xpx Xpx;" />と<margin>の2つ目の値に空けたいマージンを設定します。



画像とテキストの余白が広がった

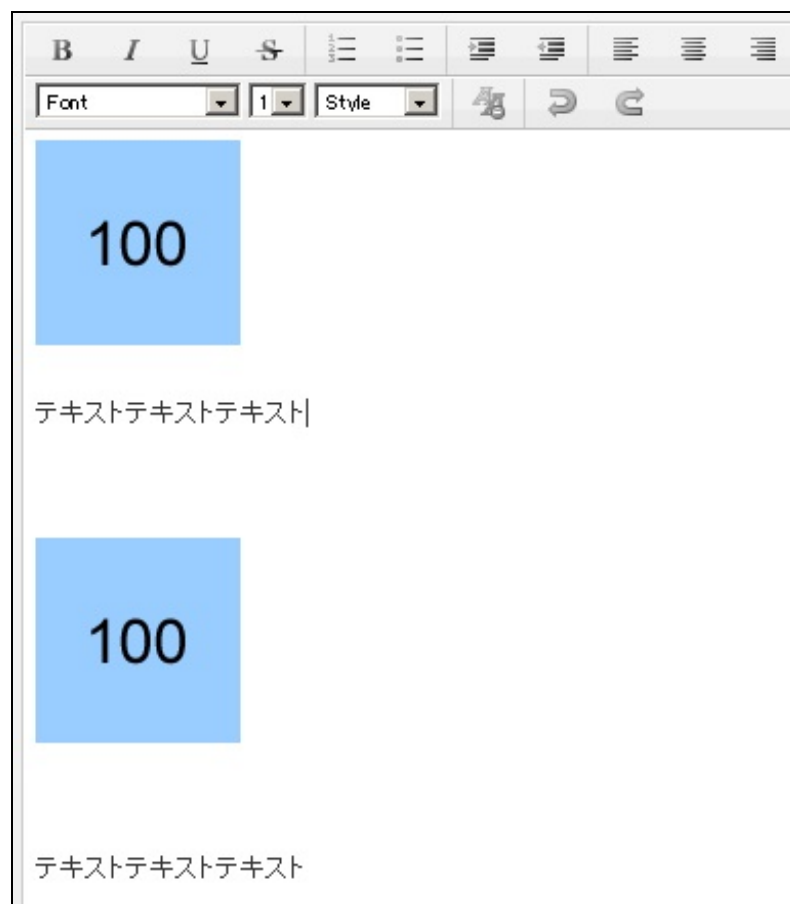
なお、マージンにマイナスの値を設定すると画像とテキストを重ねることができます。



画像とテキストが重なった

画像の上下のテキストとの余白を広げたい場合

`<style="margin: 50px Xpx 50px Xpx;" />`と`<margin>`の1つ目と3つ目の値に空けたいマージンを設定します。

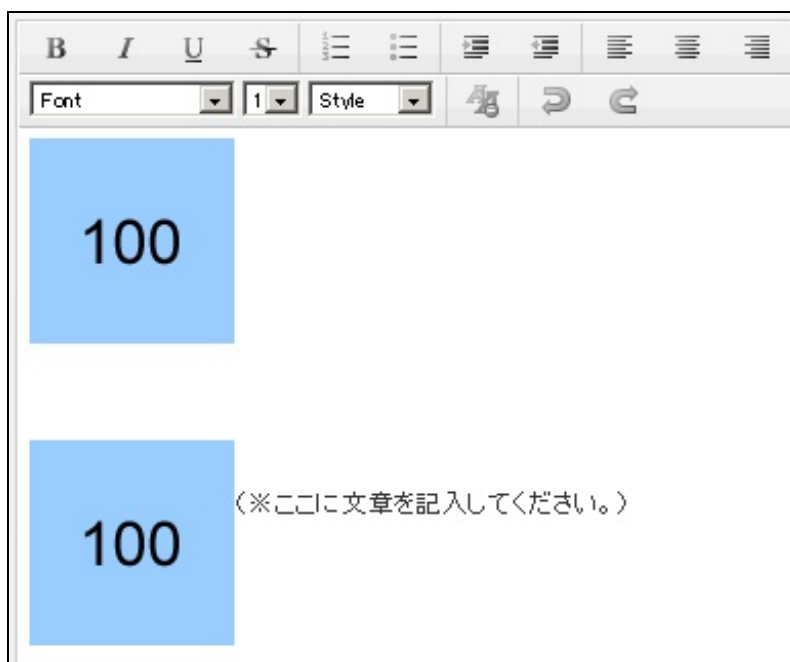


画像の上下の余白が広がった

テキストの開始位置をずらしたい場合

`<style="margin: -20px Xpx Xpx Xpx;" />`と`<margin>`の1つ目の値にずらしたいマージンを設定します。

画像よりも下にずらしたいときはマイナスの値、画像よりも上にずらしたいときはプラスの値にします。



テキストの開始位置がずれた

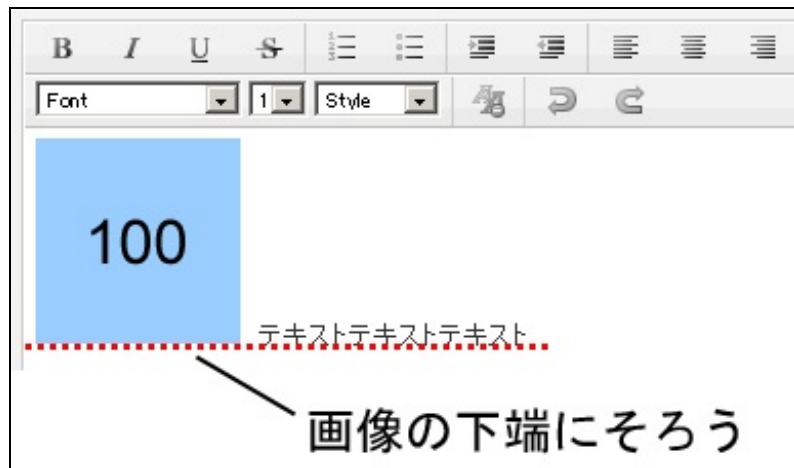
なお、画像の上下に余白を設定すると、画像とテキストの開始位置だけでなく、画像の前の行との空きも変わってしまうので注意してください。

（「画像の上下のテキストとの余白を広げたい場合」を参照）

11.画像の位置

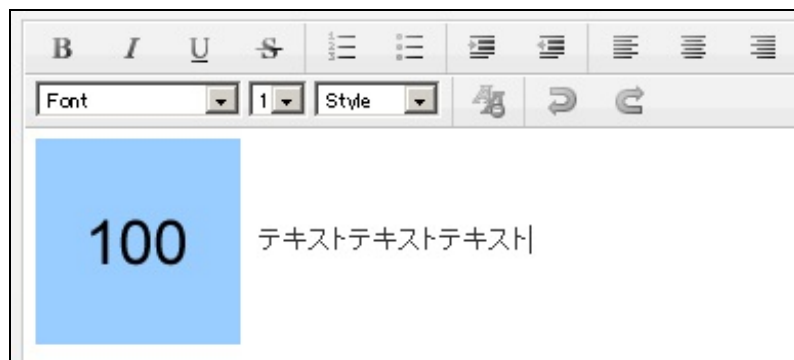
パブーでは回り込みしていない画像は、テキストの下端（ベースライン）に画像の下端を揃えて表示されます。

（[ページ確認]ではセンターに揃っていますが、PDFやePubにすると下端に揃います。もしかするとビューワによって処理が異なるのかも？）



画像とテキストが下端に揃う

画像とテキストが揃う位置を変えたい場合は、<style>属性に<vertical-align>で揃え位置を設定します。



画像とテキストをセンターに揃えた

設定できる位置は以下の通りです（詳しいことはCSSの解説書などをご覧ください）。

- ・ vertical-align: baseline テキストのベースライン（デフォルト）
- ・ vertical-align: top 上端
- ・ vertical-align: middle センター
- ・ vertical-align: bottom 下端

12.画像に枠線を付ける

画像の色と電子書籍ビューワの背景色によっては、画像との境界が曖昧で見づらいことがあります。

また、本書のようにパソコンの操作画面をキャプチャした画像の場合、画像と紙面（ビューワの背景）の違いがわかりにくいこともあります。



画像と背景の境界がわかりにくい

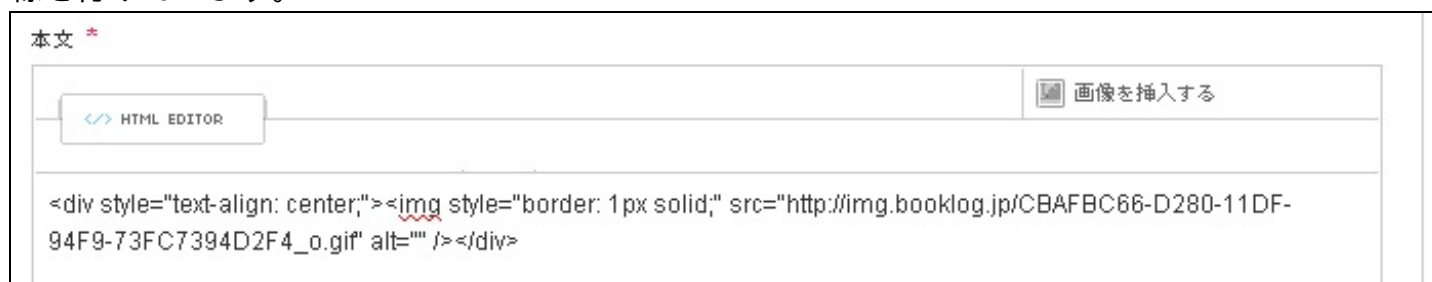
こういう場合は、画像に枠線を付けると見やすくなります。

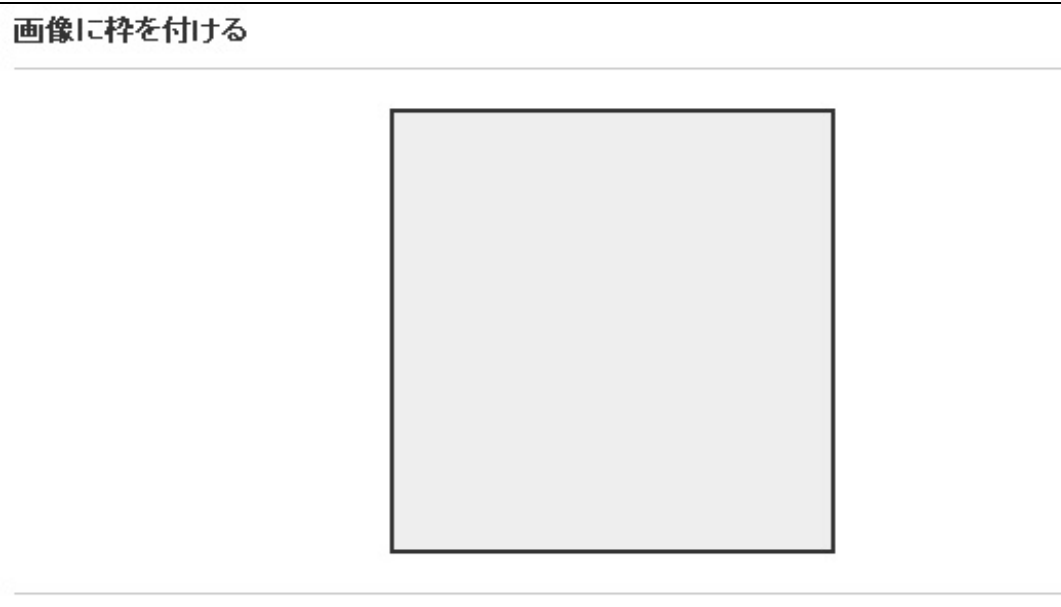
（本書では画像に枠線を付けています）

あらかじめ画像に枠線を付けても良いのですが、HTML（=ePub）では画像に枠線を付けることもできます。

テキストの修飾と同様に、タグに<style>属性でborderを設定します。

本書では、と設定し、1ピクセルの黒い実線で枠線を付けています。





画像に枠線が付き、背景との境目がわかりやすくなった

この設定はPDFでも反映されます。

（PDFは表示サイズや解像度によって、一時的に枠線が見えないことがあります。こういう場合は、PDFの表示を拡大・縮小すると見えます）

奥付

パブーで遊んでみよう 3

□

2011年1月22日 初版

1.使える画像～12.画像に枠線を付ける

製作

アイソメ万太郎

<http://ameblo.jp/aisome-dtp/>